京城日報

二十日夕刊

本紙定價 一部金二錢五厘 一ケ月金五拾錢 郵券代用二割增
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲特別欄 ▲場所指定 ▲三號活字 ▲六號活字は五號活字の二行に同じ
京城太平通一丁目 發行所 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
電話番號 編輯局 營業局 京城 二〇〇番 一四番 二六〇番

獨逸の重大なる危機
ヒンデンブルグ將軍の宰相に寄せたる書面發表

アムステルダム來電＝ヒンデンブルグ將軍より宰相ベイトマン、ホウルエク氏に送りたる書面獨逸に於て發表せられたり之れに依れば獨逸は今や重大なる危急殺到しつゝありて此の急を凌ぐには大改革を要すと云ひ軍需勞働者の不足は極端になれり而も農民は貪吝にして生產品を出すを拒絶し或は擧止緩漫にして此の戰爭の結果は生死の係る所なるを解せざるが如しと攻撃したり(倫敦電報)

獨逸の和蘭壓迫企圖
英國に對する物資供給に對し

ロツテルダム來電＝獨逸は和蘭より英國に向ふ物資供給を妨げん爲め近く最も辛辣なる壓迫を和蘭に加ふ可く企圖しつゝあり(倫敦電報)

墺國カール親王の攝政

維也納來電＝墺國皇位繼承者カール親王は十二月二日攝政に任せらる可し(紐育電報)

佛國砂糖缺乏甚し

佛國にては砂糖の缺乏甚だしくニユーイー市は率先砂糖使用節約の目的にて引換制度を採用せり(紐育電報)

モナスチール佛軍に歸す

巴里來電＝佛國の公報に曰く佛軍は塞國の一時首府たりしモナスチールを占領したり(紐育電報)

獨帝の羅國破壞命令
カーパシアン戰線突破協定

ブカレスト來電＝獨帝は羅馬尼を破壞す可しとの命令を其軍隊に下したり又マツケンゼン元帥はフアルケンハイン將軍と塞耳維の舊都ベルグラードにて會見し數週間内にカーパシアン山脈の戰線を突破する事に努力す可く協定したるもの如し(倫敦電報)

段內閣飽まで維持

馮國璋氏より段內閣は飽く迄も維持す可しとの電報ありたり(北京特電)

天津公民會決議

天津公民會は老西開事件に就き密議をなし夏外交次長の自裁及び佛人との取引中止を決議せり(北京電報)

苦力募集失敗

英國は威海衛外文登營鑛山に使用すべき苦力募集に失敗せり(芝罘電報)

外相就任式期

本野一郎子の外相親任式は二十一日午前十時半より宮中に於て行はせらる可し(東京電報)

本野子の訪問

本野子爵は二十日朝寺内首相を官邸に訪問し重要案件を協議せり(東京電報)

全國典獄會議

全國典獄會議は二十日午前十時より司法省に開き松室法相臨席正午散會せり(東京電報)

地方民政爭に飽く

地方民は各政黨が徒に政爭に沒頭し相互の攻撃を以て能事とするに飽き果て寧ろ國家問題に關する講演を歡迎するの傾向を示しつゝあり(東京電報)

選擧事件判決延期

石川縣選擧事件の判決は來る二十七日に延期されたり(東京電報)

金塊運賃昂騰

金塊輸送運賃昂騰せり(東京電報)

總監天機奉伺

二十日は天皇陛下還幸あらせらるに付き山縣政務總監は同日午後二時宮內大臣に宛て天機奉伺の執奏方を電請せり

王家天機奉伺

天皇陛下には二十日陸軍特別大演習より還幸あらせられたるにつき李王、李太王兩殿下並に李堈、李埈兩公殿下には同日午後二時何れも使者を總督府に派し山縣政務總監に對して天機奉伺の傳達方を依賴されたり

政務總監訓示
道府郡島書記講習會に於て

道府郡島書記講習會は廿日午前十時より總督府第二會議室に於て擧行せり、同席上に於ける山縣政務總監の訓示左の如し

道府郡島書記講習會終了を告げ茲に閉會の式を擧ぐるに方り、講師各位の勞を謝し併せて講習員諸子に告ぐる所あらむとす。

本講習會は十一月六日を以て開會し本日其の會期を終れり、此の間に於ける講師の懇篤なる講演と諸子の熱心なる研究とは相俟つて諸子今後の執務上に裨補する所尠からざる可きを信ず、將來尙ほ一層の研鑽を積み常に修養を怠らず以て地方行政の改善に資せむことを期す可し。惟ふに半島の統治は年と共に整備し民力亦漸を逐ふて進步するは洵に喜ぶ可しと雖、或は輕佻浮華の風を生じ或は奢侈佚遊の弊を釀すの虞なしとせず、是れ實に地方に在り直接人民に接觸する官吏の最も意を用ふ可き所にして各位は須らく身を持すること謹嚴、人に對する懇篤、操行を正うし品位を保ち以て自ら鄉黨を率ゐるの覺悟なかる可からず。殊に內鮮人の融和は本島統治の要素たるを以て諸子は常に此の點に留意して地方人民に對し又常に朝鮮語の習熟に怠ることなく充分彼我の意思を交換し得る程度に達するを要す。今や內外多事產業の發達、富力の增進、國民性の涵養等施設經營す可きこと一にして足らず其の効果の良否は諸子の努力に俟つもの實に尠しとせず諸子其れ旃を勉めよ

講習會終了

道府郡島書記講習會は二十日午前十時より總督府第二會議室に於て閉會式を擧行せり當日は山縣政務總監をはじめ宇佐美小原兩長官、關係各課長講師等列席、政務總監の訓示ありたる上記念の撮影を爲し更に茶菓の饗應ありて十一時閉式せり

歸京途上
蘇峯生

山陽ホテルより　拜呈十一月十三日

黎明、起き出て、名殘惜しくも、鵲巢居を出立。先づ門外道普請、道側の石垣修築等を見分し、此回滯在二週間弱の際に、聊かながらも、改善の効ありしを滿足し。それより京城日報社に立寄り、昨年本月失火の災を、再びせざらんが爲めに特に火用心の掲示を書し。南大門にて諸友に別れ上車せり。別るゝに臨み、國分漸菴(三亥君)詞契、阮堂の唐詩十首を錄したる一帖を贈らる。龍山にて見送りの社友、下車するや否や、早速展披、快心洞目。終ひに覺わず釜山に著せり。阮堂は李朝末期の學者にして、金正喜其人也。或は寶覃齋と云ひ、又た阮堂と號す。其の翁覃谿、阮元等に私淑したるや、幽溪小豎、知る可し。其の書や、晚唐人の詩に類するも、其の氣概と、筆力とは、自から群雄の中に於て、別に立戴成隊の概あり。予爲めに車中、卒として一首を作りて、漸菴詞契に謝せんとす。

不比芍藥含春涙。阮老風神老更奇。但恨格高家數小。亂山秋薔見枯枝。

芍藥含春涙は、元好問の『有情芍藥含春涙』の句に取り、阮老の筆意の、敢て女郎の姿態に倣はざるを、嘆賞したる也。

釜山にて若松府尹等と相見、高麗丸に搭ず。昨夜は近頃比類なき安樂航海にて、往航の大時化を償ふて餘りあり。人間萬事乘除あり。早起事務長等の爲に、惡筆を揮ふ。阮堂に對して、申譯なし。馬關に著すれば、埠頭恒に相迎ふ二三子の顔の、丁吉治君を見ず。如何にも物足らぬ心地す。然も逝者は追ふ可らず。今日は馬關に、例の如く好天氣、山陽ホテルの給仕、曩日より今朝野田大塊老が、來會の報を齎す。乃ち只今待受中、小閑を偸んで之を記す。此れより一時半の後は、此身は既に東京直行の汽車中にありと知り給へ。匆々不一

大正五年十一月十四日午前八時半馬關山陽ホテルにて

辭令

十八日附を以て左の通り任命ありたり

慶尙北道第一部長を命ず　總督府道事務官 平安南道第一部長　吉松憲郎

平安南道第二部長を命ず　總督府道事務官 平安南道在勤　富永一二

任朝鮮總督府檢事(敍高等官八等十二級俸下賜)補海州地方法院瑞興支廳檢事　朝鮮總督府裁判所書記兼通譯　閔丙晟

任中央試驗所技師兼京城工業專門學校敎授(敍高等官七等十級俸下賜)　中央試驗所技手兼京城工業專門學校敎授　海福記一

任仁川公立商業學校敎諭(敍高等官八等十一級俸下賜)　仁川公立商業學校敎諭　伊藤最一

仁川公立商業學校長を命ず

任朝鮮總督府郡守(敍高等官八等十一級俸下賜)　忠淸北道鎭川郡在勤を命ず　朝鮮總督府道書記　趙漢昺

秋山大將動靜

東上中の秋山軍司令官は二十一日より二十三日迄東京附近に於て擧行の師團對抗演習を參觀し來る二十九日東京出發歸任の途に就く可しと

龍山支廠長更迭

朝鮮駐劄陸軍兵器龍山支廠長陸軍砲兵少佐田邊氏は十一月十五日附を以て中佐に進級し待命となり不日退鮮すべく後任は善通寺兵器支廠長陸軍砲兵中佐山田興吉氏來る廿三日著任の筈也

池田長官歸任

十月末以來東上中なりし遞信局長池田十三郎氏は十九日午後九時南大門著列車にて歸任せしが停車場には島田、矢野、佐々木各課長局員の出迎ひありき

土木局長元山行

土木局長持地六三郎氏は築港狀況並に土木事業視察の爲め二十二日朝南大門驛發汽車にて元山及び永興に出張二十五日朝元山發汽車にて同夜南大門驛著歸任の事となれり

松永道長官出張

松永京畿道長官は車田事務官及び後藤書記を隨へ二十日仁川府廳に於て開催の仁川、江華、富川、金浦の府郡參事諮問會に臨席の爲め出張せり同日午後六時三十七分南大門著歸任せり

有賀課長登廳

京畿道第一部長より總督府關稅課長に轉せる有賀光豐氏は二十日より登廳度支部長官室に於て關稅事務並に度支部長代として同部に屬する一切の事務を管掌し居れり

有賀時永兩氏別宴

京畿道第一部長より總督府關稅課長に轉じたる有賀光豐氏同地方係主任より同總務課長に轉じたる時永浦三氏の爲め京畿道及び京城府の職員發起となり二十一日午後六時より花月に於て送別會を開會する由なるが出席者は約百五十名位なりき

十一月上半の朝鮮貿易
一月以降の累計總額遂に一億萬圓を超過す

▲上半貿易高　十一月上半の朝鮮貿易は輸移出品價二百三十九萬八千二百八十四圓、輸移入品價三百六十五萬九千五百二十一圓、合計六百五萬七千八百五圓にして前年同期に比し輸移出に於て十七萬七千二百八十五圓を減せるも輸移入に於て百二十八萬六千六百四十一圓を增せるを以て合計に在りては百二十萬九千三百五十六圓の增進を告げ出入の權衡は前年同期に於ては三十萬二千餘圓の出超なりしに當期は百三十六萬千二百三十七圓の入超を見たり

▲累計貿易額　次ぎに一月以降の累計は輸移出四千二百七十四萬六千餘圓、輸移入六千二百四十八萬六千餘圓合計一億五百二十三萬七千餘圓にして前年同期間に比すれば輸移出に於て四百三十五萬三千餘圓輸移入に於て一千二百十一萬五千餘圓の何れも增加を示し合計一千六百四十六萬九千餘圓の激增を見たり

▲出入重要品　今本月上半並に一月以降累計の輸移出入重要品價を示せば左の如し

輸移出重要品價額(圓)

品名	本月上半分	一月以降累計
米	九三〇、一五九	一三、一五八、五四七
大麥及小麥	……	……
豆類	五二五、二九九	三、九七八、三〇四
鮮魚	五、一六六	一四〇、七八二
乾魚及鹽魚	五八、〇八九	八八五、三五六
人蔘	一、〇八一	二、二七二、七九六
棉花	一五、八八五	一、一〇八、八九五
金鑛	一、五三五	九六一、四四四
鐵鑛	二五、六八七	四九九、二八八
黑鉛	二五、二六二	四九六、一七七
石炭	一二、二六一	三七二、〇四六
牛皮	一四九、五五〇	三、〇〇八、五八五
生牛	二四、〇二五	三五四、九二四
肥料	五三、〇四一	八四六、七八五

輸移入重要品(圓)

品名	本月上半分	一月以降累計
米	一、三一五	一九四、九八五
粟	一、七三五	七六、五〇〇
小麥粉	一七、七二八	七六〇、五三六
食鹽	三六、九一〇	九六六、七一〇
鹽魚	四、四一二	二五六、六二一
砂糖及精糖	六九、六一六	一、六一六、四一七
淸酒	四六、六一〇	六三八、二四〇
麥酒及黑麥酒	四五六	四二二、五一〇
石油	一〇、六六四	一、五六四、一四二
綿絲及打綿	六〇、一六七	五六八、五三一
綿織糸	一五三、五四二	二、五八四、一一八
生金巾及生シーチング	四八三、三四二	五、七六三、八六九
晒金巾及晒シーチング	一一三、四一六	二、四七二、〇五八
天竺布	三七、〇四九	五五九、七三六
綿繻子及綿イタリアンス	七八、四六一	六四一、〇三五
日本綿布	一三八、七五六	二、三五四、七四九
支那麻布	……	一、六一二、五四七
毛織物	二五、八二三	四九七、七一五
絹織物	四六、七九七	一、〇五三、七五五
紙	一〇三、一六六	一、六七四、一二五
熟鐵	一八二、六五九	一、〇一〇、二五九
鐵(筒及管)	一五、一六八	一八六、一八一
軌條及同附屬品	七、九五七	四九七、八二五
鐵道機關車	……	一四、一五五
煙草	六、五四四	四七〇、七五九
石炭	八一、八〇八	一、五九二、五〇六
木材及板	四七、〇一一	一、一七六、五九八
叺繩及莚	六五、九六〇	七〇三、二一七
セメント及石灰	五二、五〇三	七三六、三三五
マツチ	三〇、八四〇	六五五、六〇七

▲出入金銀高　尙ほ本月上半の金銀貨並に金銀地金の輸出高は輸移出金貨及び金地金九十四萬七千五百五十八圓、銀貨及び銀地金六百卅三圓合計九十四萬八千百九十一圓にして輸移入總高四萬三百八圓に對比すれば九十萬七千八百八十三圓の出超を示し又た一月以降の累計は輸移出金貨及び金地金一千四百三十三萬九千餘圓、銀貨及び銀地金四十九萬千餘圓合計一千四百五十三萬餘圓にして輸移入合計百四十四萬六千餘圓に對比すれば一千三百八萬三千餘圓の出超を告げたり

未だ語る事無し

川上東拓囑託は云ふ　平北の合尹を辭し新に東拓に入つた川上常郎氏は往訪の記者に曰くまだ會社に顏を出した計りだから東拓の事業に付語るべき何物も有たぬ、經營上に關する卑見は正式に吾輩が理事として入社の出來た上に語るとしやう吾輩は多年奉仕した官界を去り十八日より十九日の兩日間に藤川新平北長官に事務の引繼全部を終つたから之れで實に久し振りに己れの双肩に荷ふ責任の輕やかになりし事を思つてゐる當分會社で色々な事を見學し又研究を續ける積りである又吾輩の受持つのは多分殖產の方面だと思ふがそれも確定した譯でない、今回東拓の幹部は殘らず更任したのであるから將來の東拓が如何なる方途に出づべきかと云ふ事は世人も大分注目してゐるやうだが將來の行り方は愼重の上にも愼重に決定して掛らねばならぬと思つてゐる

顧問更迭理由

今回東拓顧問本田幸介博士辭し前理事韓相龍氏新に顧問となりしが右は別に特種の理由あるに非ず本田氏は官職を帶びて水原に在り會社の殖產事務に關し若し諮問を受くる必要を生せば何時にても其の需めに應ずべしとて豫て辭意を有しゐたりし由にて這般事實となりしもの又韓相龍氏は理事として會社に在職久しく且つ有力なる實業家なれば種々會社對朝鮮人問題に關し其の力を要する事あり乃ち顧問に推したるものなり尙ほ韓理事の後任は之れを置かずと

高瀨囑託東上

東拓金融部長事務取扱囑託高瀨梅吉氏は一兩日中社用を帶び東上すべしと

川上囑託出社

前平北長官東拓囑託川上常郎氏は二十日午前十時出社高瀨先任囑託に挨拶の上殖產部長室に入れり

商議役員會延期

京城商業會議所役員會は二十日開會の筈なりしも役員中差支のもの多きため二十一日午後一時より開會することゝなりたり

大豆運賃と仁川
對人割引反對

仁川穀物協會にては曩に鐵道局より對人割引に就き交涉を受けこれに對し最後の回答をなす可く十九日午後四時より鮮亭に於て有志會を開きた

觀戰行
金谷生

歸途の船より(第八信)

○『船出せし博多はいつら對馬にはしらぬ新羅の山ぞ見ねける』小生の對馬丸は今し左舷に方つて夕陽を負へる對馬を望みをり候。

○小生玄界を橫斷すること既に二十餘回、釜山の山影を望む每に任那日本府と加藤淸正とを想見するを禁ずる能はず候。

○而して從軍十二日の行程を見れば恰も文永役の蒙古軍にも比すべきかと被存候。

○當時蒙古は高麗の王都開城に征東行省を置き、更に戰艦九百隻を以て今の鎭海灣なる合浦を出帆す而して伊勢の神風に見舞はれて引還せると頗る小生の行程と相似たり『演習はモウコリ〳〵とは』廣文庫にも有之まじく候。

○序ながら這回大演習の地は總て是れ菊池、高橋、立花氏の戰跡に御座候。而して忠烈千古に炳たる菊池氏の裔は奉天將軍顧問菊池中佐にて高橋、立花の後裔は立花第十九師團長その人に有之、小生演習地に此の兩氏を見て感慨禁ずる能はざるもの有之候。

○船は今より二三時間後は釜山入港、久しぶりに親愛なる擔軍諸君の謦咳に接すべく候。匆々。

(十八日夜對馬丸にて)

るが結局協會としては今日迄共益社大豆運賃問題に關し個人として撤廢運動をなしたるも何等反響も無かりしが該問題が單に當業者間の問題たるに止まらず遂に鎭南浦、沙里院に於ける各團體の呼應となり亞いで有志大會となりて當局と折衝に折衝を重ねたる結果鐵道局が其の割引範圍の擴張をなしたるは是れ有志の勞に俟つ處多けれど今日に至り鐵道局の交涉に應ずるは面白からず尙ほ對人割引の契約に反對する事に決し午後十一時散會したり

府郡參事會

仁川府外三郡參事會は二十日午前十時半松永道長官久水府尹、車田道事務官、堀內書記、後藤道書記臨席の上仁川府廳に於て開かれたり參事は仁川府丁玖鎭、張錫佑、富川郡李啓寬、金貞坤、金浦郡崔洙、金重駿、江華郡金鍊榮、尹相健の諸氏にして開會と共に松永道長官より一場の訓示あり了つて道長官は

地方狀況及び大正五年度臨時恩賜金事業に於て京城恩賜授產事業の組織を廢止し之れに代ふるに農蠶及畜產等に關する種苗の配付其の一部產業の開發獎勵に勉めたるが之に對する一般の感想並に實施の成績、里長名譽職を採用せる郡に於ける民情及び成績民籍の移動申告は容易に流るゝ者あり之れが勵行の良法共同墓地の設置及び使用料徵收に關する一般の感想地方に於て最適切なりと認むる工業の種類並に其の獎勵方法犬の弊害に代ふるに豚を飼育せしめん其意見如何現行教育制度に對する一般の感想地稅法納期實施に對する納稅者の感想地方に於ける小商工業者の資金需用の狀況

等につき諮問し各參事よりは之れに對し答申する處あり午後一時頃終會したり

金浦小作米品評會

京畿道金浦郡農事獎勵會支會主催となり二十日郡衙に於て小作米品評會を開會したるが出品點數三百點にして道よりは阿部農業技手出席したりと

仁川

▲商議評議員會　仁川商業會議所評議會にては二十日午前十時委員會開會、同日午後一時より本會議を開き大正五年決算報告及び認可申請中なりし大正六年豫算の認可に就き報告ありたり

釜山

▲水產組合の飼料供給　朝鮮水產組合に於ては本年七月下旬より八月上旬に亙り全羅南道務安郡玉島、佳蘭島より手長蛸千七百餘尾を購入し木浦港內に養畜し鯛繩漁業者に餌料として供給し頗る好成績を收め居りしに今夏の虎疫流行と共に一時中止し居たりしが尙釜山に於ても供給を開始する筈にて之れが準備中なりと

▲岩本院長通過　京城地方法院長岩本以明氏は十九日午後七時釜山に著同八時三十分發さくら丸にて東上せり

人事消息

▲茶谷保太郎氏(安宅商會員)　二十日朝入京龍尾へ
▲山口馬太郎氏(鑛業家)　同上天良礦へ
▲赤井定誠氏(海州地方法院檢事正)　二十日朝退京
▲齋藤萬兵衛氏(大連實業家)　十九日夜退京
▲高木濟次郎氏(鑛業家)　同上
▲神林啓太郎氏(咸興炭鑛社長)　同上
▲岡崎思雄氏(海運業)　同上
▲ツイルビー氏(白耳義商人)　二十日夜入京朝鮮ホテルへ
▲ボーロース氏夫妻及令嬢(白國前總領事)　二十日退京
▲ブローン氏夫妻(米人商人)　同上
▲廣田駒次郎氏(元山每日編輯長)　廿日入京廿一日平壤へ
▲中岡默堂氏(通俗教談者)　二十日入京日の丸旅館へ
▲府郡書記講習會員一行六十三名　十九日午後歸京
▲京城高等普通學校職員生徒一行二十六名　同上
▲バルロース氏(前ブラジル農務長官)　廿日朝出發內地へ

吉原氏を弔す
大塊

十八日別府に於て

陳者吉原東拓前總裁の訃に接し小生不幸葬儀に不得參列當地崇福禪寺に於て佛供養可致左に弔俳

たよりなき身は失せけり露の如

朝鮮の魚を召す
立太子禮當日御饗宴御用

立太子禮の御饗宴當日は宮中豐明殿に内外臣僚を召され大饗宴を賜はる筈にて右に用ゐらるべき鮮魚に就ては日本近海の魚は虎疫全く終熄せしにあらざれば近海の物は尚多少危險の虞れあるを以て大膳職に於ても種々苦心中なりしが考慮の末愈て朝鮮の物を使用せらるゝ事に内定し總督府と協議の結果遂に朝鮮遠海の鯛數千尾を漁獲し之を精選して回送する事となり去る十七日關釜連絡船にて下關に送りたるが同地にて大演習より歸途の羽大膳職は之れが檢査を行ひ直ちに特別仕立の貨車に積込み途中一切開扉を許さず直行し廿日午前三時汐留驛に著し宮内省より差廻しの馬車にて大膳寮に搬入さる

麗水の鯛 二千五百尾

秋の御大典に際し御祝宴用として多數の鮮鯛を麗水山神組に御用命ありたるが今亦宮中に於て御催の立太子禮後の御祝宴御用として目方二百目の鮮鯛二千五百尾を奉納方宮内省大膳職より下命あり山神組に於ては此名譽なる御用命を奉仕の爲め諸事謹嚴なる設備を爲し虎列拉は已に全く終熄せるも萬一を慮り非常なる注意を加へ御用鯛捕獲に從事する各漁夫は鄭重なる檢便を施し保菌者ならざるものを選び容器も堅固の箱を新調し氷詰の上密封を施し運搬船も嚴重なる消潔及び消毒を行ひたり

年末は 約手の訴訟沙汰
これからの取引は手形に注意肝要のこと

京城を初め朝鮮各地では諸取引に約束手形を振出す向きが頗る多い、是は主として借用證書に代用せられて居る爲めであらう、從て約手に關する種々の

■訴訟沙汰が 近來滅法多くなつたといふ、殊に年末を眼前に控へた昨今の如き京城地方法院では此の訴訟が中々に多い、元來手形を借用證書に代用することは簡便な一方法ではあるが手形は手形法に面倒なる種々の手續きが規定せられてあるから之を完全に履行せないと其の權利を實行することが比較的面倒である爲め約手を受取る人々は何れも手形法に關する

■相當の手續 きを確知してゐないと意外の損失を招くことが出來易いし而かも常に相當の取引訴訟をやつてゐる紳商であつて此の約手に對する知識が乏しかつた爲めに思はぬ損害を蒙つた實例が京城では珍しくない、其の一例として或る約手の裏書人となつた紳士がをる銀行から償還請求の訴訟を受けたことがあつた、其の紳士は『吾々は昨年來銀行から矢攻火攻めに請求の訴訟をも受けなくとも

■約手の履行 は確實に行ふものだ』とさも銀行の仕打を亂暴な仕方のやうに眼いてゐたが之は確實に手形法なるものを知つてゐない故ではなからうかとも思はれる要するに手形は借用證書の場合よりも比較的難かしい手續きを取行はねばならぬ筈であるに之を却つて簡易な輕便法と思つてゐるのは全くの大間違ひである、右の場合に銀行が訴へを起さない時は

■償還請求權 を喪失することになるから已むを得ぬ爲めの訴訟である、其の一例を示せば約手の裏書人に對する償還請求の手續法としては第一拒絶證書を作製し其旨を裏書人と通知してから滿一箇年内に請求せないと裏書人に對する權利は自然消滅となる、然るに一般取引者は此の一年の期間を經過した後に初めて悟つたやうに狼狽し裏書人に對し訴訟を提起して續々

■敗訴した者 も尠くない、倘一年内に請求しても其の事實を證明するに足る證據を採つて置かないと役に立たぬから其の證人を定めて置くか、又は支拂ひ義務を承認した書類を握つて置くことが肝要である又一年内に催促しても其催促の日から滿六箇月以内に請求の訴訟を起さなかつたら其の

■請求の効力 を喪失することになる爲めに其の銀行は止むを得ず關係紳士に訴訟を起した次第である

製綿會社工場 調革切斷
鮮童一名慘死す

十九日午前五時二十分頃龍山青葉町朝鮮製綿株式會社工場内にて運轉中なりし据附機械の調革切斷したる爲め俄然上部備附けの機械脱落して煉瓦製の柱三本を粉碎したる上附近に居合せたる同工場傭人京城義州通四丁目居住趙興洙の長男趙石尹（一六）の頭上より落ちかゝりて右脚外二箇所を骨折し重傷を負ひたる騷ぎに龍山分隊より憲兵駆付け檢視の上直ちに元町二丁目十字病院に擔ぎ込み應急手當を加へしも同日午前八時過ぎ死亡したり

乘客五名負傷
公州自動車轉覆

十八日鳥致院發公州行の六號自動車が午後零時四十分忠南燕岐郡南面校村里に差蒐りたる際高さ約八尺位の下方畑地に墜落轉覆して數名の負傷者を出したるが乘客定員八名なるに大人七名と小兒二名（八歳と二歳）の過員にて場所狹き爲め乘客なる公州常盤町の林慶植なるもの運轉手臺に立出でたる際運轉手が之を制せんと後ろ向きとなりハンドルの方向を誤り遂に墜落するに至りたるものにて乘客中小兒二名及び前記林慶植の三名は負傷なかりしも他の乘客は次の如く負傷したり

▲公州旭町理髪職柳本しづ（二二）右手首骨折▲公州常盤町三七金氏（四〇）腰部打撲傷▲同權氏（一九）同上▲京城花洞三四李氏（五七）兩手打撲▲若草町栗原助三郎（四〇）左手首挫過

右急報に接し鳥致院分遣所員出張應急手當の上負傷者は公州慈惠醫院にて目下加療中なるが何れも生命に異狀なし因みに轉覆自動車と相前後して發車したる他の自動車には出張中なる境京城覆審法院長、花田公州地方法院長、小松忠南事務官等搭乘しゐたりしも幸に災禍を免れたり

◇「花の帝」井手氏の逸品

京城郵便局の井手吉助君は大正元年本社第二回の菊花品評會に狂咲玉垣を出品して第一等に入選した人である、以來年々數十鉢を栽培して常に良好の成績を示し今年も如く見事な出來榮へなので昨今檄を四方に飛ばして來觀の勸誘に努めてゐる、昨年は病氣の爲めとあつて今年は新しい趣致こそ乏しいが花も咲き皆な立派なものである、然し氏は無暗に大きくするのが得意と見へて盆は何れも馬鹿に永く花の帝などは五尺以上に達してゐる

◆賑ふ花柳界 券番＝置屋＝藝妓＝料理屋
―景氣のよい裏にはこんなこともある―

惡うなつてくると一時間のものを二時間の割で客から勘定を取る料理店は一時間につき三割の口錢を取つた以外に半本乃至一本花の餘計なのを貪りつゝあるのだ。（結局）

◆券番も 藝妓も之れによつて表面損失は受けないが、世間の評判を惡くする丈それ丈損失を見つゝあるのである。惡ういふ風にいふと單り券番、置屋のみに止まらず眞面目にやつてゐる料理店の迷惑する事も甚だしいものである。一概に

◆線香の 時間と言つてしまうとかう云ふ向の料理屋にでもそれ〴〵の申譯があるそれは一時間から一分出ても次ぎの時間即ち三十分の方に移つてゆく又は貰ひと言つて他の座敷に出てゐるものを自分の座敷に呼ぼうとする時たは幾らか增すのであるがその場合

◆初めて の客であればその旨を豫じめ通ずるがそれも僅かなものである、然かも前の樣な場合詰まり一時間と十分經つたといふ樣な時には料理店では客からはそれ丈の線香代を取りながら券番には一時間で空いたといふやうな通知をしておいてそれ丈は自分の方の

◆所得に する事が多い、これは先づ已むを得ないにしても券番と客の間に立つて不正の利益を得やうとするのはいゝことではない。成程その當座でこそ莫大な儲けがあり、所謂ボロイ稼業の味は此處だと舌鼓を打つ事が出來るかも知れぬが、それがために京城の花柳界といふものが漸次……

◆評判を 落してゆく事は測り知られぬものがある、その結果手輕主義の料理屋の信用は地を拂つて安心して遊ぶのには大なる料理店で無くてはならぬといふ事になる。前にも言つたとほり比較的誠實に營業してゐる家こそいゝ面の皮と言はねばならぬ、券番なり置屋では流石に同じ穴にゐる丈に此の弊習をよく知つてゐるが、之れを表立つて

◆故障を 言へば線香が汚ないとか言ふやうな其の券番又は置屋からは一切藝妓を呼ばなくなる、其處を恐れてゐるので其の間の消息は薄々知つてゐながらも泣き寢入になつてしまふ、客の方でもこんな事情を一々調べてゐる者は無いから、高いとは思ひながら知らずに過してゐる、其處で勢ひこんな

◆野暮な 内輪の事情までいつて見なければならぬ事になつてくる此の問題は他から言はれるに先き立つて料理屋組合が率先して事實を調査しそれ〴〵取締まるのが至當では無いかと思はれる（つゞく）

自動車小兒を轢き倒す

京城廣橋京春自動車組十七號自動車に運轉手吳應俊（三）が乘組み十三日午後四時五十分頃乘客を滿載し春川より京城に向け楊州郡和道面九岩里飮食店鄭今用方前の道路を疾走中今用の長男吉壽（二）が急遽車前を橫切らんとしたるを以て之を避くべく運轉手は激しく方向を轉換したる刹那車體は吉壽に衝突して頭部腰部に輕傷を負はせ餘勢にて附近の道路並木に衝突して少しく破損したるも應急修理を加へ被害者へは治療費を支給して無事京城に歸還したり

鬼夫婦の死刑
高等法院の判決

世間の耳目を聳動したる釜山東萊の別莊番人福田某を慘殺したる吉木又平及び同人妻りうの兩人に係る殺人事件は第一審なる釜山地方法院にて兩名共死刑の宣告を受けたるを不服とし大邱覆審法院に控訴したる結果又平は死刑りうは無期懲役の判決となりたるを倘も不服として京城高等法院に上告中の所二十日上告棄却の判決となりて第三審迄愈決定したり

電車の立往生

十九日午後八時十五分京城電氣會社の東大門行六十六號電車は鍾路停留場附近にてブレーキに故障を來たして三十五分間立往生し應急修理を施し同五十分運轉するに至れり

麻袋に屍體 哈爾賓市中
鮮人の慘殺

十八日午後一時頃哈爾賓プリスタンボレブ野外露國行政區域内横田商店の横町に於て鮮人田某方に於て強盜殺人事件あり此の報に接したる哈爾賓帝國領事館警察署丸山警部及び森岡中村の兩巡査部長は露國警察署よりの警官の立會を求め同行現場に至り加害者二名を即時逮捕したり加害者は薪割斧を以て睡眠中なる同人を無慘にも斬り付け十餘箇所の重傷を負はしめ被害者の屍體を麻袋に入れ新市街道路修繕中の土攤を以て蔽ひありしを發見せり犯人は目下鄭重に取調べ中なり（長春特電）

二千圓の請求訴訟
保險會社の勝訴となる

平北宣川邑内居住亡河野長八の遺子正、千代子の兩名は平壤森辯護士を訴訟代理人として帝國生命保險會社朝鮮代表者京城黃金町居住の秋元照豐氏を相手取り亡夫の保險契約金二千圓の支拂請求訴訟を京城地方法院に提起し被告は中村辯護士を訴訟代理人として係爭中なりしが此程被告の勝訴となりたり其内容を聞くに亡河野長八は昨年九月十七日四千圓二十箇年の契約にて保險契約をなし一回に百五圓八十四錢宛年二回拂込として第一回を拂込みたる後本年二月二十六日喉頭病にて病死したるを以て遺族は保險金の請求をなしたるに引渡さず契約に際し重要の事項の申告をなさず病狀を隱蔽し居たるを後に發見したりとの理由に依り會社より契約解除の通知を受けたるを以て其の訴訟に及びたる由なるが裁判所に於ては審理の結果亡長八は生前肺結核にて二回入院加療せし事實あり之れが關係ある咽喉病にて病死せしも原告は此事實を會社の醫師に隱蔽したり然るに保險契約後一箇月以内に右の死因を會社にて發見し契約解除の通知をなしたるは理由ありとて前記の如く判決ありたり

屠獸場の出火

京畿道水原學校組合所營なる水原郡台章面池里所在の水原屠獸場より十七日午後七時五分頃發火したるより水原義勇消防組水原警察署員出動して消防に努めたるが獨立家屋のこととて他に類燒なく屠獸場一戶一棟（損害約三百圓）を燒失したるのみにて同三十分鎭火せり同日は午前中屠殺したる牛豚等の後始末をなし之を裏庭にて燒棄中火が傍らの松葉に延燒して遂に發火するに至りたるものなりと

債權者の表門で縊死

京畿道水原郡龍安面坪里禹德玄（四六）は五年前同面古索里の朴建裕なる者より三十圓の借金をなしたるも返濟不能の爲め嚴重なる督促を受けたる後遂に財產差押處分を受くるに至り本月十七日之が執行を開始されたるより大に驚き自暴酒を呷りて債權者なる朴建裕方に立越し談判せんと同人に面會を求めたるに直ちに拒絶されたるより大に悲觀し有合せたる繩を以て同人方の表門に縊死を企て人事不省に陷り居るを家人が發見し水原より係員出張應急手當を加へて蘇生せしめ其不心得を嚴戒して引取らしめたり

紙幣を二つに
使つた曲者の淺智惡

慶南統營吉野町徐在金（三）は去る九月二十五日午後八時頃吉野町雜貨商今林方に至り豫て所持せし朝鮮銀行券半切れを四つ折りとなし恰も一見一圓紙幣の如く裝ひ一個二錢のヘルメット莨を一箇買はんとするより今林の妻は何心なく彼れが差出す四つ折の紙幣を受取り別に調べもせず其の儘金匣の中に投げ込み剩錢九十八錢とヘルメット一個を渡したりその夜店を閉ぢ計算の折柄前記一圓を開き見しに一圓紙幣にあらずして半切なるにぞ鮮人に一杯喰はされしかと地團駄踏んだが詮すべなく早速この由警察に屆け置きたるに大膽不敵なる前記徐在金は又もや一杯喰はさんと今林の主人は統營回漕店に出務しなし居ることを知り居たりしかば同人に面會し何喰はぬ態にて自分は一圓紙幣の半切れを持つて居る故買つては呉れまいかと申込みにし今林は早くもそれと察したれども素知ぬ風にて實は自分にも一圓紙幣の半切れを持つて居る故合はせて見て都合好く合へば買つてやらんと請取りたるに的切り符合せしを以て直ちに引捕へて警察に引渡さんと思ふ其時後く彼の時早く一目散に逃げ失せたり然るに今林は此鮮人の住所を知り居たりしかば早速その旨警察に屆けしにぞ警官直ちに出張拘引の上詐欺取財として懲役四箇月に處せられたり

●釜山の虎疫

釜山に於ける虎疫は其後未だ終熄せず毎日一二名の新患者發生し最近に於ても十六日谷町鮮人娘金迷連（四）十七日長崎縣人漁夫濱口作策（一八）は加德沖出漁中十八日水晶洞山口縣人片桐丑藏（五七）何れも發病し前者二名は死亡し後者は避病院に收容せらる

●捲き上げて逃亡

福岡市博多東中洲入町生れの田原重三郎（三八）愛媛縣松山市夷子町生れ大分縣別府町居住の山本菊次（四九）兩名は十月十七日元山及び安邊郡地方を徘徊し特許膏宇草紙及び惡の素といふものを携へ內鮮人數名より特約一手販賣依託の名義を以て百餘圓を捲き上げて姿を晦ましたるより目下行衞を嚴探中

讀者文藝（一等には五十錢の郵券を呈す）

○令孃が髮脫ぎ捨て大安座（一等）　龍山　正木生

▽川柳『髮』

▲松王丸髮はかりに惡くかられ　京城　惡外
▲チヨン髷の髮を取れば女將なり　京城　東海
▲髮結はめられて亭主ゆくなり　京城　城田　山翠
▲風俗稼業の娘出たがらず　龍山　山家　吞公
▲假裝隊かつら似合はぬ髯を出し　龍山　岡本小草子
▲髮きて團十郎の身振りかな　京城　一步

■募集課題及募集規程

■募集規程　▲用紙は端書又は四同の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名外に住所氏名明記の事▲締切は一……

■天氣　は　曇り時々晴れ　▲十一月廿二日……

釜山入港さくら丸　二等客……　三等（一六四名）　十九日午後釜山入港德壽丸……

眼科内科　小兒科　入院隨意　京城黃金町三丁目赤門通（電話二四四三番）　本田醫院　院長　本田建義

常に眼を使ふ人　常に眼の惡き人　朝夕お用ひあれ!!　外の目藥にて效なき人は試よ!!　スグに效きある目藥　登錄商標　直治水　主効　トラホーム　やにめ　其他眼病　はやりめ　うみめ　諸症に特　かすみめ　めくさ　効あり　點眼器付價十錢、二十錢　本舖　大阪　東京　丹平商會

開業披露　今般其筋の認可を得て仁川米豆取引所仲買人新規開店仕り候に付多少に不拘御注文成被下度誠實親切に御取扱可申上候間御愛顧の程奉願候也　營業方針　弊店の五大特色　絶對正義　顧客本位　實買確實　親切丁寧　通信機敏　仁川米豆取引所仲買人　定期米併現物問屋　仁川海岸通三丁目　平田直達商店　電話一五八〇番、一五九　電信略號（ヒラ）又は（ヒ）

都山流　尺八　音譜　音譜解說　三十錢　三の景色　二十錢　嵯峨集秋　二十錢　俗曲の編　上中各四十錢　大阪　前川　三木　合名會社

急告　浪界の驍將　吉田一若一行　座員　吉田花若　吉田奈良一　吉田奈良春　花の家義雄　右は當地初御目見得として來る廿二日より臨時特別興行開演仕候間賑々敷御來館奉希候　本町一丁目　電話二六六番　有樂館

最モ優秀ナル淋病内服藥　ゴノチール　一容量（三十球、六十球、百球藥局用五百球、千球入）販賣　今ヤ內外諸大家ノ實驗ニ依リ奏効的確ナル治淋劑ト認定サレタル本劑ハ實業界之泰斗エールリツヒ及グツトマン兩博士ノ創見ニ係リ淋菌ニ對シ强烈ナル殺菌力ヲ有スル「テトラオキシチールチオニンクロールヒドナート」ヲ主劑トシ之ヲ配合シ合理的ニ集成セラレタル者ニシテ彼ノ危險ナル洗滌ヲ要セズ單ニ本劑ノ内服ニ依リ淋病、膀胱及尿道炎其他排尿器疾患ニ對シ遺憾ナク治療ノ目的ヲ達シ得ル卓越セル一新劑ナリ臨ンデ各位ノ御試用ヲ希フ　○各地有名藥店ニアリ　○說明書ハ現品ニ添附ス　發賣元　大阪市道修町三丁目　藥品問屋　西村藥林社　電本局二四九一、振替大阪七五三〇

眼科專門　入院隨意　京城明治町東拓橫（電話二〇四四番）　江頭眼科醫院　日曜祭日午後二時迄　江頭富雄

…を取りて營業權を貸し居れるが本月…天に對し改修を命じたるにあ…

●新年動題の意匠と圖案

來る新年の動題を『遠山の雪』と仰出されて例年これを意匠圖案の畫題として居る呉服店、半襟商、袋物商、扇子屋その他菓子商の如き當業者は最早其々

◇準備 に著手し中にはその製作に取掛つて居る所もあるが抑說動題が『遠山の雪』と仰出された丈その應用範圍が極めて自由な代りに總てが平凡に陷つて奇拔な勝れた

◇趣向 が著け難いと目下孰も圖案の苦心中である所でその意匠圖案は裾模樣にしろ帶にしろ半襟にしろ遠山を描いて霞を見せ近く新年を利かせて雪持裏白か松かを配するより道がなく隨つて恐らくその

◇意匠 は山や霞の態が變るのみで殆んど一樣になるだらうと專門家は言うて居るが只この霞だけは古來意匠として最も廣く應用され模樣圖柄に落著きを缺いだ時霞が四田を配らへば必ず

◇調和 するものとせられて居るから平凡ながら却つて描き好いと云ふ事だそして又動題や干支を嚥著その他の模樣に採ると云ふ事は年々廢れて行つて數年前までは花柳界に大流行を極めたけれども

◇現今 は脣う大した事はなく動題模樣を使つても露骨に現はさず說明されて初めて解る位の程度に依つて注文されて居ると云ふ宗春の干支は巳で長虫を意匠に採るのは誰でも厭がるから

◇干支 は今の所問題外に置かれて居るし一方動題『遠山の雪』も何方かと云へば非常に高尚になつて強いものを配らつたケバ〱しいものは出來ず僅に初日を見せるとか南天を配する位が程度だそうである

●戰爭の裏に勤しむ獨逸の婦人

龍谷小波氏の依托により伯林大學附屬東洋語學校に語學教授として十四年間在勤し去九月伯林出發本月上旬歸京京城ホテルに入れる江森信氏談

▽勤儉な獨逸婦人 獨逸婦人が家庭の主婦として勤儉なことは今更の事でもないが戰爭前は國富の膨脹に連れ成金などの家庭には奢侈の風も見え初めたに拘らず開戰と同時に勤儉の風は社會各階級の家庭を風靡し殊に官公吏、陸海軍人、敎師等の家庭の主婦は實に當面の衣食問題に勤儉なるのみならず子孫の爲め老後の爲に計るとも至れり盡せりである

▽買物は主婦の役 彼等は子供一人に女中一人を附添はせると云ふ如き者ではなく中流階級の令夫人令孃ですら皆籠或は風呂敷を攜へ徒歩で食料品其他の買出しに行く女中などは滅多に雇はない縱し女中がゐても買物には主婦若くは令孃親ら出掛る決して雇人任せにはしない日々の食料の品質價格等に就いては彼等自ら選定しなければ納得が出來ないのである

▽塵埃溜も貴重品 彼等は果物の皮、馬鈴薯の皮、野菜の切端に至る迄も無駄には捨てない一定の塵箱に溜めて養鷄養豚業者に與へてる林檎なり櫻桃なりの核さへも溜めて置いて製油業者に頒つのである實に彼等は塵溜をも粗末にしてゐないのである而も遠方から想像する程に食料に窮乏してゐるのではなく此の勤儉の風は彼等の來年の習慣とも云へるのである

▽臺所に科學應用 獨逸の主婦の臺所を見ると實に病院か何かの藥局を見るやうな感じがする彼等は臺所の立働きにも學術の應用を怠らないのである例へば家庭でジャムを一つ製るにも唯だそれを製つて壜に納込んで置くと云ふのではなく其壜一つにも却々深い注意をするジャムを貯藏する壜には少しでも水氣があつては惡いそれで先づ火で水蒸汽を去るのであるが其許りでなく或時私が見てゐますと何か煙を燃し立たせて其上へ

▽壜を覆せてゐる 何をしてゐるのかと尋ねると硫黄を燃して其の煙で壜の內部を消毒してゐるのである總てが此風である學校で覺えた學術上の知識を日常生活の雜事に應用すると云ふ努力は實に著しい

□京城秋八景—(七)切花屋 こゝにも夜な〱嚴しい霜が忍び込んで秋ての美しい色彩が去つてしまつた。さしも美しかつたダーリヤも嚴霜に打けて僞しい姿になつてしまつた。流石に菊だけは凜然として郊外の下に君子の體面を保つて窮然つては居るが、その下には株を存まされた株になつた鷄頭や百日草が淺しく零落れて折り倒れて居る。廢園の樣に荒れた花擅にはそれでも若衆が忙しさうに採除けたりして働いて居る。小弥の陽が室の硝子に美しく見めく頃になると、早や向ふの畑の蔭へふくら雀のお饒舌婆さんが二十三羽うち伴れて、腹がにコスモスの實を啄べに來てゐた。

◎軍人と小學校生徒と 接近して滿洲では結果が良い

滿鐵にては沿線各小學校兒童の體育訓練上夏は水泳冬は氷滑り等を奬勵する外先頭より數員若くは補助敎員に豫備將校或は豫備特務曹長を傭聘し全く軍隊式の敎練を行はしめ兒童一般の元氣振興に努めつゝあるが成績良好にして其の結果、規律正しく命令を實行し頗る志氣旺盛を極め居れり。又一方軍隊と小學校の接近を計り、時々將校に乞ひて實戰談或は勇敢なる將卒の行動等生きたる講演に、精神の修養に資し居れるが殊に大石橋小學校の如きは最も軍隊と接近し、學校にありては大石橋獨立守備隊第五大隊の支那語研究志望者には、出來るだけの便宜を與へて敎授し、又大石橋守備隊よりは副官池上步兵大尉常に下士上等兵を從へて學校に臨み親しく兵式體操を敎授し、時には講演等を試み、或は小學生を營舍に伴ひ兵卒の起居動作等を見學せしめ嚴肅なる軍紀風紀の貴ぶべきを誨へつゝある爲め、從つて兒童の志氣振興を極め其の步調も堂々として勇往邁進の氣象を發揮し昨今寒さ漸く加はれるも決して寒しなど口にするものもなく、一般に好感化を與へ、滿鐵敎育係主任岡本辰之助氏の如きは其の効果の顯著なるに悅び居れり

◉連絡船上陸客 十九日午前…青柔に題の有…にも歸宅せりと

商況

東京株式特電
(二十日大引) 諸株又場發す 前場 寄付 … 東京株式新 … 東京鐵道 … 日本郵船 … 鐘紡 … 大日本製糖 … 一八一、五〇

東京債券現物特電
二十日出來値段(前日との比較) 東京市五分利公債 … 一八一、五〇

東京公債直取引特電
二十日値段(前日との比較) 五分利公債 … 八四、三〇 … 八三、二〇

深川在米特電
二十日現在高 朝鮮米 … 一五、〇八 一五、五〇 一四、六五 一〇、五五

東京期米特電
二十日前場 一月限 寄付 … 六、七四 六、七六 六、七三 六、七六 … 後場 …

大阪株式特電
二十日前場 大阪商船 … 東京新株 … 日本郵船 … 大阪株式

大阪三品特電
二十日後場 十一月限 一八〇、七〇 … 十二月限 … 二月限 … 三月限 … 四月限 … 一八五、〇〇

大阪期米特電
二十日前場 寄付 中限 一五、九一 先限 一五、九七 … 一六、四六 …

下關期米特電
二十日前場 寄付 … 中限 … 先限 …

雜報

◉牛皮大物漸騰 (牛皮) 然るに需用期に入りたる龍山甲皮等の原料となる牛皮は依然當り盛漸く成行きと共に氣配に大阪筋の買進み援續と高値に乘り買人氣を唆り物の注文も亦昇騰す如何とも交渉難くあるも上の期待もあれば格別相場の下落を見るべからず一般大皮は統底皮の相場を示し居る…

◉約一圓五十錢高 (呈出)…

◉洋紙類は強硬 (輸出) 向きの好況と原料パルプの高値によりて各國紙價は益々昂騰しつゝありて…板紙類之に代用すべき風呂敷其他の…

◉鐵板愈々高し (鐵板) 呈出約一圓方昂騰 二十圓…

◉大五仲買店 仁川米豆取引所仲買人 海岸町三丁目 電話三〇九番長九一二番

◉罐詰類強硬 …五割安…

◉麥粉更に高氣配 外國小麥の暴騰輸出の好況等材料の良好なるに刺戟せられ…

◉セメント引弛む 本品は前月の…

◉生果類不味 …

下關相場
◉朝鮮白米は…

◉仲買店 ㊐ 仁川米豆取引所仲買人 まるにち 電話 一八二番 二三番

◉(日) …依然低落 洋銀一斤…朝鮮一等白米… 十五圓九十錢 十六圓 …

京城正米
…

南大門の廻穀
▲十九日分 平澤白米 三九叭 … 仁川大豆 … 永登浦籾 …
▲二十日分 平澤白米 一七〇叭 …

仁川現物市場
▲籾入津 昨今約四千叭…
▲正米入津少なく…
▲大豆入津…

㊉仲買店 仁川引米豆取所仲買人 電話長九〇五番 …

釜山市場 十九日
▲正米(同一)…

仁川期米
▲二十日前場 大阪天候晴 天前寄十六圓四十六錢と一昨止より十一錢安の入電二節四十三錢と小安き移り…一錢と跳れ返し大阪三節五十…

市場雰聞
▲依然下げ澁る (天候) 最天大阪の軟化で軟弱を受けて十二圓五十五錢と寄付きたるが…

◉引續き優勢の買物現は無碍に下押…

▲前場の手振 …
▲一部の投げ招致し日…小口軟派の賣物現…
▲大に賣る ▲能く賣る ▲能く賣る ▲能く賣る ▲大に買ふ ▲大に買ふ ▲能く買ふ ▲の商内

▲續て軟弱 …
▲益々高下を縮少し …
▲押目か否乎 …
▲六十三丁切暴 …
▲僅々二十七丁押に過ぎ …
▲當限解合 …一部解合成立 …

仁川米豆取引所
二十日の一月限

前場	
寄付	十一圓五十五錢
止め	十二圓五十三錢
高値	十二圓五十五錢
安値	十二圓五十三錢
出來	三萬八千二百石

平均値段	
一節	十二圓五十四錢
二節	十二圓五十四錢
三節	十二圓五十五錢
四節	十二圓五十四錢
五節	十二圓五十四錢

賣買取組高 十一月限 一萬二千六百五十石 十二月限 二千五百五十石 一月限 十萬九千八百五十石

板硝子各種 英國製壁紙 入荷 釜山本町 ㊤村上商店 電話五番

青竹 荷入 釜山港 島末材木店

內外 雜貨卸問屋 近江屋支店 釜山本町二丁目 電話二〇八番

於施政五年共進會 銀牌受領 改良唐箕 石拔唐箕 萬石通 千石 籾摺 各種 製造販賣 朝鮮勸農商會 釜山本町二丁目 電話…

雜貨卸商 釜山大廳町…明治屋本店 迅速 確實 薄利

味の素 特約店 朝鮮 洋酒罐詰 商 あづまや商店 釜山辨天町

CONFECTIONERY WINE PROVISIONS DEALER 菓子 洋酒 食料品 卸商 ミトヤ商店 電話64

月刊商報發行送呈 釜山本町三 近藤商店 電話八七六 振替三五八 雜貨 鍋釜 金物 卸問屋

ダイヤ印燒酎 カーバイド アルコール 福榮商會 釜山 電話一三二三番 一三九番

釜山着名商店 洋酒罐詰 錦絲 石油 煙草 荷札 卸問屋 釜山辨天町 ビワコ屋 (月刊物價表發行)

故隆藏葬送の節は遠路御會葬被下難有存候略儀以紙上御禮申上候 大正五年十一月二十一日 父 相內辰吉 友人一同 親戚一同

新荷著 懷中時計 ニッケル側 … 本店 京城本町二丁目 イングレッシー商會 電話九七二番

結核專門 古賀病院 佐賀縣基里村

日ノ出向鳥印學生帽子 到る處の帽子雜貨店にあり 製造發賣元 東京 吉安商店

強胃消化錠 マーゲン 島田藥學博士處方 著しく胃を爽快にする 大阪上本町五丁目 田畑保藥房 特約店 京城南大門通二 新井藥房

富の道しるべ 山縣五十雄 村上唯吉共著 …

報 週間以內に剽窃發見通告者には五十錢書籍券を呈す(但何號何日と明記に限る)

宮本武藏

第二百二十二席

桃川如燕口演 浪上義三郎速記

曉雲は小僧が涙ぐんだ様子を見て曉『コレ小僧、お前の名は何といふ』小『俺は幸作と申します』曉『両親はあると云つたが、其方が涙ぐんだ處を見ると病氣でもあるか』幸『左様でございます、母は眼病でございまして親父は秋田の城内の牢へ繋れて居ります、それゆゑ俺が馬を牽て駄賃を貰ひそれで母を養つて居ります』曉『何に父は牢舎に繋れ居るとは何か惡いことでもしたのであるか』幸『別に惡いことをしたといふ譯ではございません、御年貢に差支た處から御召捕となつて牢へ入れられましたので、其のことに就て母親が歎き悲み眼を泣腫して眼病となりましたので』曉『それは可愛想なことである、俺共は江戸の者で儒者と畫工で決して心配をする者でないから詳しく其の話しをして聞かしてくれ、話しをしたら又宜いこともあるであらう』幸『有難うございます、それなら話しをいたしませうが、アレ御覧なさい、向ふに見ゐる森が私共の村方で、俺の家へお寄り下すつて少し休でお在なすつては如何で』曉『オー彼の森のある處が其方の家か』幸『左様でございます』曉『然らば其方の家に參つて暫く休まして貰ふ又話しも聞かふ』幸『有難うございます。左様なら御案内をいたしませう』と是より路へ入りました、彼是半里ばかり參ると吉

田村といふ處でありますが、向ふに見ゐる一軒の茅屋、小僧は幸『旦那様、向ふに見ゐますのが私の家でございます』曉『然うであるか』幸『阿母お客様をお伴れ申して來たよ』母『オー幸作か、生憎雪が降て來て嘸ぞ困つたであらう』幸『ハイ有難うございます、恰度宮志野の原まで歸つて來ると秋田の御城下までお出でなさるといふお方があつたから其の旦那を乘せてお供をして來たが、貴様の處へ寄つて休んで行うと被仰つたからお伴れ申して來たよ』母『オー然うか、それでは此方へお通し申す様』幸『さア旦那様方兎も角是へお上りなすて焚火でもしますから暫くお暖りなさる様』と曉雲は馬から下り二天と共に上に上りまして曉『何かお前が此の小僧の母親か』母『左様でございます、妾が幸作の母でございまして、洵に倅が御厄介になりまして有難うございます』曉『お前は眼を病で居なさると云ふことだが嘸ぞ難儀なことであらう』母『洵に不自由でございます』曉『然うであらう、然し孝行の倅を有つて仕合せである』母『有難うございます、洵に倅が能く面倒を見てくれまして、又日々稼いてくれますので』曉『何にしろ結好なことである、然し先刻鳥渡小僧から聞いたがお前が配偶者は秋田の城内で牢舎の苦みをして居るといふことだが、洵に氣の毒なことだ、何ういふ譯で入牢したのであるか一通り話しをして聞せなさい』母『左様にございます、夫幸右衛門が入牢いたしました譯は、兩三年引續いて凶作それが爲に御年貢金に差支ました處、郡奉行より御呼出しとなり一兩度御取調がありました處、幸右衛門の申し口は立ずして、年貢滯納の廉を以て入牢に相成りました、平素病身のことでございますから如何あるかと是を案じ、それが爲に妾は盲目となりましたので旦夕伜幸作と相談をいたし何うがなして幸右衛門出牢の儀を計らうと思つて居りまするが、如何とも詮方なく泣暮して居ります』曉『然て城内の郡奉行は何と申すので』母『左様でございます、郡奉行は田村九郎右衛門と申します』曉『左様であるか、幸ひ俺は是から秋田へ參るもので、城内に知る人もあるから其の者に依頼して幸右衛門が出牢に相成る様取計つて進せう』母『それはまア有難いことでございます、何うか然うなります様にお願ひ申します』曉『時にお前の眼病といふのは腹から出た病ではない、歎き悲んで眼を潰したのであるから癒られぬことはない、俺は良い眼藥を遣はさう』と懐中より眼藥と云つて黄金を取出しました。

肛門病専門 痔疾 注射
（十一月十二日より向一ケ月間）診察時間午前九時より午後九時まで
京城南大門驛構内二見旅館内
肛門病専門 院長 久枝秀喜
『患者參考』最新式痔疾根治注射療法書申込により進呈す

質業開 濱田
黄金町三丁目十五番地（永樂町停留場北へ入萬成舎隣）

歸著仕候間謹告候
京城旭町一丁目 小林醫院 小林千壽

十一月廿二日九星 舊十月廿七日 癸亥 本命一白 北建 赤口

▲一白 得手勝手なる議論有る日新事見合 西方は吉▲二黒 勘辨のたらぬ事有る日注意新事手控萬事栫を樞ろは吉▲三碧 上都合の日轉居開業入學名弘求職金作嫁娶入試験を受る等萬吉▲四緑 潮込の日轉居開業入學求職家作採鑛婚姻金談入組の和を計る等萬吉▲五黄 一寸出まさる事有る日注意新事手控萬事は吉 無益の散財を防がるべし▲六白 利益を得る日轉居開業萬進で利有 女子は一層よき事有待人來る▲七赤 順潮の日轉居旅行入學名弘求職探鑛金談船舶業等萬吉▲八白 手の届かぬ事有る日新事手控萬事は吉一切のかけ事せぬがよし▲九紫 不自然の事有る日新事手控萬事は吉術に注意せらるべし

病で時々の **てんかん**
ヒキツケ困る方切手三錢送れ永年の病も自宅でなをす最善の良藥を教ゆ
名古屋市中區南小川町 救生館

演藝案内

御成座 電一九一 御成町
第二十八回藝題 佐藤紅緑氏作（八）『潮』全七場（一）七つ岩の場（二）坂巻幸助の宅（三）同家裏口（四）（五）清水寺の場（六）由井ヶ濱（七）朱須家奥座

浪花館 明治町 電話二六〇
△九日より○生粋の江戸落語三遊社幹事朝寢坊むらく改め橋本川柳一座來る△出演番組△落語（三遊亭歌當）△笑話（はし本都遊）△昔ばなし並に曲藝（朝寢坊らく）△大阪落語（大阪落語）△少年はなし（[illegible]）△おとし噺（[illegible]）△かけ合噺し（[illegible]）△落語（[illegible]）△人情落語（やりさび）（橋本川柳）○毎夜正五時半開演仕可候

黄金館 電話二八五二（階上）二六三七（階下）
天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店 カシー商會朝鮮一手代理店
十一月二十一日より差替特別大寫眞○實寫 海底の動物○滑稽 三二が四○滑稽喜劇○大活劇第五『黒い箱』第十一編（窓外の救助）第十二編（鐵道の破壊）第十三編（二人の生死は？）六巻上場○新派キネマ劇『晴れ行く雲』全四巻

有樂館 本町一丁目 電話二六六
日本活動寫眞株式會社特約
十一月十七日より新寫眞提供▲實寫アルガリヤの首府ソフイヤの風景▲喜劇馬鹿大將蛸の卷▲喜劇帽子の主▲新派大悲劇『色たすな』（全三卷）▲舊劇京上臈○正劇○舊劇立浪武源太

稻荷座 京城本町五丁目
▲京阪落語別派三升家會 十八日午後九時半より 御祝儀落語音曲（三升家紋四郎）、三人旅落語（同紋二郎）、明石船落語曲藝（同紋二郎）、辻八卦落語手品（同紋郎）、落語手踊（同紋之助）、猫の災難落語（同紋八）、人情噺（同紋十郎）、大下落語（同紋七）、三味線音曲（同紋之丞）、古手買今様落語（同）、教兵衛落語（中）、朝顔日記大井川掛合新内（同紋路太夫）、同紋衛太夫、落語並に若柳流扇舞踊（同紋右衛門）、子別れ（若柳吉壽）●大切所作事座員總出 落語芝居喜劇本髮 本衣裳總用

大正館 櫻井町 電話八七三
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
十一月十五日より特別興行大寫眞提供○實寫『巴里にかける菊花園』○滑稽『送られる切符』○喜劇『幸福な令嬢』△立花貞次郎一派出演○新派活悲劇『犯さぬ罪』（全三卷）△兄は無實の罪を蒙りて獄中に斃がれ盲目の父と幼なき妹を遺して二人の可憐の姉妹...○軍國大活劇『交戰』（全五卷）△佛國有名なる大作△武士の本領として同家中の仇討（全三卷）

效力 **五倍以上の クラブ齒磨**
化學的に齒を強く美しくし口中を清潔ならしむること
他の如何なる齒磨よりも遥かに優れるは天下一品のクラブ齒磨なり

梅毒 痳病 化學應用 **自宅療法** 簡易＝迅速＝經濟
効力非凡にして而も身體には安全なる化學的内服劑
■初期梅毒は横痃の出ぬ内局部限りで安全に治る
■慢性で體内に蔓延潜入して居る梅毒も又は頑固に外發して居る梅毒も一擧に殺菌的大消毒が行はれて目に見ゑて迅速に治癒し清淨無毒になる
△痳病にも現代最善の新特効藥あり
ハガキに梅毒又は痳病と病症記入し申込あれ
無代進呈 非賣品…彩色圖入説明書秘密封送す
東京市本所向島小梅町 東京藥化學研究所

桑苗 魯桑、市平、高助、純良 其他各種、魯桑實生（純粋保險）接木用實生及穂木 請合豫約貴需
大田 東蠶社 長電話百〇七番

貯蓄預金 元金百圓ニ付日歩壹錢三厘 金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店 京城黄金町電話四二〇番五八〇番 振替貯金口座京城八一四番
同 龍山出張所 龍山元町二丁目電話一八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

最上醤油
特許 機械製 **ほまれ味噌**
絶對的品質本位
鮮滿釀造界唯一の名譽
於始政五年紀念朝鮮物産共進會
金牌受領
釀造元 仁川港 日本醤油株式會社 電話七一五番 長距離京城一七四番
京城出張所 電話二四五番 長距離京城五二三番

腦病良藥 レーベン
●本レーベンは植物性の藥物にして醫學博士岡田、醫學士森繁吉、日向軍醫少監醫學士森友道氏等十餘名の諸大家が有効證明を有する良劑にして常時醫學士の創製に係る絶好の腦神經病良藥なり故に腦神經衰弱、頭痛、眩暈、逆上、ヒステリー其他凡ての腦神經系病に對する絶好の治療藥にして『リンサン』の多量に加味せられたる新式の錠劑なり論より證據先づ百錠乃至二百錠を試よ 藥價三十錢、五十錢、八十五錢、一圓六十錢、三圓、五圓五十錢、の六種あり、信用ある藥店に取次す、本病の療法書と本劑の説明書は申込次第進上す
發行所東京市銀座弓町電話長京橋三〇八番●支店大阪東區安土町堺筋電話長本局三〇〇七番

京城日報
第三版
廿一日朝刊（夕刊と合せて二十頁）
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介

江華島に遊ぶの記（二）

蘇峯生

十一月九日、又たしも讀經の聲と與に起き出づ。扨も九日は、前日と打て變りたる好天氣、乃ち老僧を案內者として、傳燈寺域を見物す。評判高き元よりの請來物、黃銅の香爐も、今は李王職博物館に宿換へし。有名なる玉燈も、江華島襲擊の佛國軍艦の、掠奪する所となり、其他宋板大藏經元板大藏經等影も形もなし。老僧の語る所によれば、佛人の戰利品として、奪らし去りたるもの、無慮四千餘卷と云ふ。されば今は書物と云ふ書物は、全く一冊もなし。而して李朝實錄を藏儲したる藏史閣も、其の系譜を藏したる璿源寶閣も、全く空蟬の脫殼にて、書冊は悉く京城に引き上げられ、纔に空屋のみを存す、廢殘の狀、見るも笑止也。書籍ありやと問へば、昨年迄はありしも、寺の修繕に際して、悉く壁を張れりと答ふ。抑も本寺は高麗時代の名寺なれば、せめて廢瓦の片にてもと、枯草落葉の間を探るも、それさへ全くなし。然も風景丈は、何人も盜み得るものなく、實に得も云はれぬ也。昨一詩あり。「蕭寺秋殘落葉堆。山城石壘擁崔嵬。老僧何會個中趣。衝雨侵泥得得來。」併し會するや、會せざるや、山僧共は、如何にも親切に心配し呉れたり。昨日は殆んど半日以上も費して、先生が箸を著け得ざる底の、朝鮮料理を調し呉れたり。難有もあり、難有迷惑でもある也。寺域一覽の後は、一行十人、或は轎に乘り、或は馬に騎り、或は人力車に乘り、或は膝栗毛に乘りて發す。吾等五人、其他の五人は參加者也。此れより山を下り、摩尼山を當面に望んで行く。路は乍ち入江の深く斗入したる所を、橫斷したる堤防に出づ。堤防の下には閘門を設け、潮汐の出入に便にす。斯くて沙器洞に抵り、此處にて高麗燒を掘る。蓋し此地は高麗時代の窯元にして、其の廢址には、土中に、莫大の廢物を藏するを以て也。址は稜かなる小丘の、傾斜面の半腹にあり。土を穿つ五寸ならずして、破片磁器累々として出づ。但だ容易に完全の器を見出さゞるのみ。予等は慾と與に、熱心に發掘するも、得たるものは、僅かに小皿三枚のみ。其他三島、刷目等の名器に接觸するも、何れも燼損せの一片ならざれば、其の殘骸のみ。此れより入江を隔てゝ、吉祥山を左側に望み、摩尼山と、五分里との中間を迂ゆれば、又た海濱に出づ。珍しく白砂を踏み、海に沿うて行けば、五分里の砲臺あり。砲臺は江華島の最南端にして、此邊の山は、全山皆な花崗石にして、仁川の稻田組にて其の切出を、明治三十三四年頃より爲しつゝありと云ふ。予等は其の事務所に於て、滿目の風景と與に、辨當を快喫す。此の邊貝塚あり、事務所の主人、予に贈るに磨製石斧と、其の砥石各一個を以てす。予之に酬いん爲め、短冊數枚を揮毫す。此れより海に沿うて、貝塚の邊を逍遙し、採集すれども、得る所なし。得たるもの僅に半製石斧と、土器の破片數個のみ。此行武井寫眞師、落馬數次、歸來鼎足山下の路に到るも、自ら止まる能はず、一氣奔注す。騎虎の勢にあらずして、騎馬の餘勢也。晩に當りて大月水精輪の如く、海天の一角より出づ。蓋し舊曆十月の望前一夕也。東坡後赤壁の遊も、思ひ出されて、最と床し。尙ほ記す可き事多し、但だ泉筆のインキ盡く。大正五年十一月九日午前六時、鼎足山城の傳燈寺禪窓、南京蟲飛揚跋扈の一室に於て。

露國の金吸收策

露國財政商工時報抄譯

二、金を民より徵收するの方法

（承前）我露國に於ては千九百十四年七月廿三日の法律により兌換を停止し以て帝國銀行より正貨の流出を防止して以來政府の今日迄民間より正貨を吸收する爲執りたる手段は次の如し即ち千九百十四年十一月十五日の法令により金、白金及び銀並に一般に五百留以上の貨幣を外國へ輸出することを禁止し且つ爲替其他の方法を以て敵國人に對する支拂を絕對的に禁止せり尙千九百十五年五月より官廳の金庫中に入る金貨を總て帝國銀行へ集中すべき諸種の行政的手段を講じ金貨所有者に對しては其の金貨を紙幣と交換の爲國庫に納入するものは鐵道乘車券購入に際し或種の特典を受くる等の方法を國民に對し金貨提出を奬勵せり之と同時に千九百十五年四月より帝國銀行に於ては僅か二分の手數料を以て金貨を法定平價により外國通貨に交換するの取扱を開始せり其結果同年中に漸く五百八十九萬八千留を帝國銀行に吸收し得たるのみにして充分の成果を見ること能はざりき然も其當時金は引續き國外へ流出するの報告頻々たりしを以て同年六月二十二日大藏大臣は大藏省令第百五十八條に依り諸國境に依る金の輸出を其數量の如何に拘らず一切嚴禁するの應急手段を執れり此手段は其後同年九月十四日大臣會議の協贊を經て勅令となれり同時に國議院の發議により帝國銀行に金貨を納付すべきことを國民に向つて布達するに至れり千九百十四年十月以降大藏省は手數料八分を差引き法定平價を以て外國通貨に交換するの條件を以て地金買入を行ひ翌千九百十五年十一月廿五日其買入を停止するに至る迄造幣局に對する地金及び成貨票の形式を以て帝國銀行に流入せる金額は三千二百七十萬留に達せり終に至り露國金鑛業者保護の爲一は國庫の正貨準備を增大し且つ造幣費用輕減の目的を以て千九百十五年九月十四日及び同年十一月十四日の法令に準じ大藏大臣は國內の官立鎔金所及び造幣局を經て國庫へ流入する地金に對し奬勵的打步を附與するの權を受け以て國庫正貨準備の增加及び金造幣費の輕減を計り露國金鑛業者の保護をなすに至れり此打步は金の最高價たる純金一ゾロトニク（卽ち我國の一匁一分三厘五毛）五留五十哥三百六十八分の三百五十に對し（千九百十五年十一月廿四日の法令を以て）其三割と定め千九百十六年一月十四日以降は四割五分に改定せり然れども此の打步附加の方法によりては國庫に多額の金を徵收すること能はざりき此方法により十一月及び十二月中に國庫に徵收したる金塊に對し支拂たる打步は僅かに二十六萬九千七百八十七留にして金の徵收額は總量四十二布度半卽ち金額九十萬留に達したるのみ也き

淸津管見（四）

西海生

口貿業家の叫び

▲淸津で三四の貿業家に會ひ商況などを聞いた、今年は淸會線工事の進捗、羅南並に會寧に於ける陸軍官舍の工事、奧地農作の增收、沿海漁業の豐饒等の好材料、因となり果となり景氣頗る宜しく、其の揚荷も夥多、擔荷も頗る面白いとの事であつた、それも昨今浦鹽に出稼いでゐる朝鮮人がボロ〳〵歸つて來るが、其の懷ろ合も戰爭の關係上例年に比しよいらしく、明太魚の漁況も良好の見込みだから、今後も益々景氣はよからうとの觀測であつた

▲更に記者は吉會線の敷設とか並に港灣改良とか云ふやうな大きな問題を外にし、淸津貿業家として今日希望される所は何であるかと尋ねたら衆口一致、商業銀行の增設にありと云つてゐた、內鮮連絡航路の如き現在以上に殖して貰へれば此上なしだが、今日の淸津發著貨物の數字より見て先づ現狀で滿足とせねばなるまい、商業會議所の如き、總督府の方針として淸津府の財力に尙ほ不足ありと見らるゝならば、奮勵一番其の資格を具ふる事に努力しやう、淸津が生牛內地移出港として元山城津並みに指定されなかつたのも一部の者の高唱するやうに吾々は遺憾とせぬ、何となれば淸津地方は陸接國境より幾何にても露領に生牛を輸出し得る便あり、更に淸津牛は支那の牛疫傳染を地理上最も速やかに受けるから、若し萬一淸津移出牛により牛疫を內地に移播するやうな事があり、折角開けた朝鮮生牛內地移出の途を杜絕するやうの事となつては大局上不利だからである

▲唯商業金融機關の增設は吾々の切望して止まぬのである、現に淸津には成鏡農銀の支店一を存するのみである、地勢民度の關係上成鏡農銀は其の本業に對する資金需要殆んどなく又活動の餘地も頗る乏しいのだから、自然農工銀行令により認められてゐる普通銀行の業營を盛んに行ふ外はない、淸津支店の如き無論其の業務普通銀行に限られ、例へば貸出しの如きも一支店で二十萬圓より三十萬圓の間を上下し、質に銀行資本總額を超過すること五十布樣である

▲然し農銀は矢張り農銀である、淸津の唯一銀行が農銀たる故に貿易港の淸津貿業家たる吾々は、少なからぬ不利不便を感ずるのである、先日もある淸津の貿業家が神戶の某銀行を經二萬圓の送金を受けやうとした時、其の銀行は淸津の農銀に取組むを躊躇した、恐らく農銀が普通銀行業務を兼營する事を知らなかつたのであらう、で色々揩つた揉だの末十四日も要つて漸く朝鮮銀行の保證を得、淸津へ爲替の取組みが運ばれたのである、銀行金利の如き淸津は最低三錢五厘最高三錢八厘に及んでゐる、然るに鮮銀のある羅南は最低三錢最高三錢四五厘である、羅南淸津間に於て日步に普通五厘の差があるのだ、不平の聲を洩らさゞらんとするも、豈それ得けんやではないか

▲成程成鏡農銀としては淸津が主な財源かも知れぬ、又會寧を鮮銀に讓つたのであるから淸津は獨占したいのかも知れぬ、併然北鮮唯一の關門として、背後に北滿洲一帶を負ふ大淸津港と、其の金融機關が一の農銀支店のみに限られてゐると云ふのは、單なる形式論より見るも不面目である、農銀に閉店して欲しいと云ふに非ず、願はくば一商業銀行支店の增設を其筋により斡旋して欲しいのである、羅南の鮮銀出張所を淸津に移して羅南は派出所位にするのも一方法ではあるまい乎

▲尤も此の問題は當路の人々にも屢々事情を開陳し、既に其の必要を認められたらしいから、何れ遠からず如何なる方法かにより實現する事とは信ずるも、吾々は其の日の一日も早く來らん事を鶴首して待つてゐるのだ、兩店存立不可能との說は過去の淸津の事で今日及び今後の淸津にはヤリ方次第により立派に經營が出來ると思ふ……と云ふにあつた、記者は貿業家の叫びとして茲に記して置く

放浪漫記

十一月十三日上海に於て　大谷光瑞

（承前）小生の近時愉快に堪へざるは本邦人の陸續支那に來り、其大部は有力なる實業家にして、放資を斷行せる事に御座候。其數より其質より滿足すべき程度に達せざるは勿論なれども、有は無に勝る、特に漸次長江流域に來れるは祝すべき事なり、支那の最も豐饒なるはこの地域にして、これに次ぐは兩廣の三江流域なり、是の地域に於ては北方に於て企業すると、勞は半にして功是に倍せり、今日まで我邦人の此の流域に放資するもの、北方に及ばざるは遺憾なりしが、漸次好機運に向へるが如し、支那に企業するもの多く、我政府の對支政策の不確立を非難せり、是素より非難すべしと雖も、對支政策如何に依らざるも、現行可能性を有する範圍に於て、大小の事業企行はれざるなし、我駐留居留地の雜草は、我帝國の面目を發揚する能はず、我邦人は常に政府の無能を責むると共に、甚しく政府に依賴せり、果して政府にして無能ならば何を依賴するの要あらんや、既に依賴せんとす、是無能を責つゝ、猶有能ならんと誤想せるに非ずや、政府は多くの時に於て人民の反映を受く、人民既に有能ならば、政府豈獨り無能ならんや、政府の無能なるは即ち人民の無能なる適證なり、果して政府の無能を責むるならば、何ぞ進で自から有能に發展せざるや、明鏡に對し鏡影の醜なるを罵るが如し、愍むべき哉、近時日淸汽船は貨に長江の外に出でたり、然れども惜哉長江の雄

す、北天津より南廣東に至るの沿岸航路は委して他に在り、本邦船舶としては、日本郵船大阪商船南滿鐵道等なきに非ざるも、僅は日淸汽船をして沿岸航路を營ましむるの簡にして捷なるに如かず、日本郵船は世界航運上の大航路に當らざるべからず、大阪商船近時又是を襲へり、兩社は宜しく此に向て發展すべく、支那沿岸は特殊の會社にして是を行ふを利とす、傳へ聞く日淸汽船の最大株主は、郵船商船の兩社なりと、二者の現在所有せる航路を日淸汽船に移すも、左手と右手と相讓するに過ぎず、二社何ぞ航路を與ふるに吝なるや、將來に於て支那に工業の勃興すべきは疑を容れず、原料と動力と工夫と三者相具れり、而して勃興せざるの理なし、我邦人今日の盛況に眩惑せられ、永遠に我商品の販路ならんと誤想せば、他日臍を嚙むの悔

睡を接せんのみ、鐵金加稅抵率關稅の如き人爲を以て、天然の大運は抑壓すべきものに非らず、殷鑑遠からず紡績業により、將來精工品か若くは特殊の技術を要する工業品の外、粗工品は支那內地に於て生產するの低廉便利なるに若かず、是我邦人愼重に研究し、大決斷を以て內地に起業をなさゞるべからざる所以なりとす、小生素より實業家に非ずと雖も、此大勢は目に日月を見るの明と耳に雷霆を聞くの聰あるものは、何人と雖も實況を見聞せば知らざるの理なく、敢て專門家を待たざるなり。小生は當今は上海に蟄居し、秋晴に乘じ郊外を散策するを遂夜灯火に親み、讀書するを樂みと致すべく、最も喜ぶべきは先月初め播種せしラデッシユの漸く成長して、毎朝食盤に上る一事に御座候匆々（完）

正誤　昨日標題「長陽丸船中に於て」とあるは「上海に於て」の誤りに付訂正す

日報詩壇

〇月下獨聲　高田小芥

萩芒饒野趣。風露共雙淸。夜靜人行絕。秋深月影明。長吟訴冥根。細語說幽情。離畔聽天籟。勿近玉樓鳴。

許日　前半殊異致。畫手不及。

▲今續て買退く

▲現物界

◆十月號及十一月號とも發賣禁止◆一大臨時號愈々出來

朝鮮公論

臨時號　口繪六頁

◇腐敗紊亂其極に達せる朝鮮鐵道局＝社會疑惑の焦點
◇となれる大屋權平長官彼れを解剖し此れを糾斷し
三度大屋長官を論難し鐵道局の改革を促す
◇て餘す處なき筆者の銳鋒は威風堂々として茲に其第三回を重ね益熱烈を加ふ見よ又々一大不正事件現る

寺內內閣論　秋元興朝　大塲茂馬
長谷川總督論　大岡育造　杉田定一　小川平吉
寺內總督を送りて長谷川總督を迎ふ　朝鮮公論社長　牧山耕藏
一百五十萬圓の藥　今津技師
神經衰弱と攝牛法　森安博士
鑛業界　鑛業便り
超然內閣の出現と大正國民の覺悟　國民黨總理　犬養毅
新任東拓總裁を迎ふ　朝鮮公論社長　牧山耕藏
惡商人防衞策
商賣繁昌新工夫
大屋長官の行動と世論（二）
□殿樣營業の朝鮮鐵道局―和田總スカンの狂亂
□大屋氏は利己主義の權化なり
京城藝妓の表裏
明治大學閥
宇佐美勝夫論
京城地人錄
水原松茸狩らすの記
西鮮の旅
公論餘滴
講讀申込所　京城太平通二丁目　朝鮮公論社

絕對に信賴すべき宗家の講義ある論本
觀世流謠本　稽古附　講義
觀世元滋先生講述
京都二條通麩屋町角　檜書店發行
第壹回　十二月五日發賣
定價

朝鮮紙　十八萬枚
朝鮮總督府臨時土地調査局

活躍せる十二月號出づ
新少年
諸先生の痛快記事滿載
東京神田錦町　平和出版社

女學世界
女の氣根　棚橋絢子
御守殿物語　蟾蜍
近世才女傳　橘朝夢
女流作家の追慕會
主婦の氣苦勞
簡易生活日誌
砂の塔　與謝野晶子
雪中の鑛山生活　木村
南洋鳥瞰紀行
變つた境遇の娘より
長篇小說　毒蛇　內藤千代子
長篇小說　南國の女　上司小劍
長篇小說　女優　田村俊子
十二月號　博文館

□離宮觀菊會御宴

清麗なる風情を御賞覽遊ばさる

豫て仰出されたる如く二十日赤坂離宮に於て觀菊會の御宴あり此の日 天皇陛下には陸軍儀式通常服に大勳位副章を御佩用鷹司侍從長御陪乘 皇后陛下には草色の御洋裝に草花を飾りたる御帽子を冠らせ給ひ千種典侍御陪乘午後二時宮城御出門青山御所正門より赤坂離宮に行幸啓遊ばされたり此の日御召の光榮に浴したるは山縣大山松方東郷の各大勳位寺内首相以下各大臣各元帥長谷川安東兩總督英米露佛伊各大公使及び夫人令孃等三千二百餘名にて兩陛下には御先著の各皇族同妃殿下以下の奉迎を受けさせられ秋芳亭に入御御通路に整列せる各國大公使並に同夫人に謁を賜ひつゝ玉歩を運ばせられ直徑一尺五寸の大輪咲一株七百餘の花を著けたる千輪咲の黄菊、白菊、紅菊の清麗なる風情を御賞覽あり終つて園内の立食場に臨御覽既たる奏樂の内に御開宴御召に預りたる三千餘名に酒饗を賜ひ次で兩陛下には四時三十分御機嫌麗はしく還幸啓相成りたり(東京特電)

◎邦人虐殺事件解決

彭隊長以下嚴罰=遺族に弔慰金

九月上旬西豐開原兩縣下に旅行中なりし邦人數名支那軍警の爲め虐殺されたる事件は爾來鐵嶺領事より嚴重に支那官憲に交渉中の所今回直接の責任者彭隊長以下關係者を夫々嚴罰に處し尚被害者遺族には弔慰金を贈る事として解決を告げたり(奉天特電)

◎外蒙古に蒙匪團起る

外蒙古に七千餘名より成る蒙匪團起り南下を圖り居れり黒龍江省督軍は奉、吉、黒三省聯合の下に討伐せんと畫策しつゝあり(奉天特電)

◎吳俊陞退院

日本醫術の發達を激賞 滿鐵病院に入院中なりし吳俊陞中將は二十日退院せるが氏は日本醫術の發達せるを激賞したりと(奉天特電)

◎支那教育視察團

支那教育視察團四十五名は二十日奉天發大連へ遼陽撫順に向へり(奉天特電)

◎パルロス氏著發

伯剌西爾サンパウロ州前農商務長官ドクトル、パルロス氏同夫人令孃一行は二十日午後七時釜山著同八時三十分高麗丸にて東上せり(釜山特電)

◎吉林と日支交渉

同地の排日他には差して反響なし矣

日支交渉事件に對する吉林各團體聯合會の反對氣勢は其後も猶ほ盛にして各縣の自治團體は時々集會を催して過激なる反日的言論を弄し頻りに民心の煽動に努め居れるが此の事たる既報の如く其の裏面に支那官憲の手引ある爲め孟督軍初め之れに對して何等取締の途を講ぜず然れど此の反日運動は今日のところ單に吉林省内のみに止まり痛痒なき黒龍江省には左のみの反響を與へざるが如く奉天省にても吉林より排日的檄文の配布あり運動員も多少入込み居る樣子なるも張奉天督軍は各縣及び各界に向つて吉林省の如き露骨なる言動をなす勿れと堅く戒飭する所ありし爲め表面は極めて冷靜なり尤も奉天の支那官民中にも鄭家屯事件交渉中の警察權問題については之を過大に見て誤解をなし主權侵害など唱ふる者もある模樣なれど其の然らざる事は既に明白となりたれば張督軍等も心底は兎に角日支親善の上より此際反日的行動に出づるの不得策なるを認めて嚴に取締りをなしつゝあり事情斯くの如きを以て元々例の小刀細工式に企てられたる吉林省民の日支交渉事件反對氣勢は吉林のみの運動に止まり他には餘り波及せざるべく隨つて之を交渉談判に利用せんとせし支那中央における一部策士の計畫も畫餅に歸するならんか左も安心は出來難きなり(大連)

◎法鐵輕鐵準備

豫て支那側の計畫せる法庫門鐵嶺間の輕便鐵道布設は他の計畫と同樣單に計畫のみにて一向實現せらるべき機構を見ねざるが奉天東方面よりの消息に據れば發起人に於て頻りに奔走し當路官憲とも交渉の上株主の出資以外不足の分を一時地税より立替へ支辨し貰ふこととし此次愈々奉天省長の許可を得て布設準備に著手し目下木材其他の工事用品を蒐集し居る由たり果して説の如きか否かは猶ほ保證し兼ぬるも此の輕便鐵道は法庫門管内二十支里、鐵嶺管内七十支里、總延長九十支里にして極めて短距離のものなれば多く論ずるにも足らざるも布設完成の曉は目下準備中なる四鄭鐵道に對し一種の併行線となるを以て我官憲においては其の計畫の進行につき多少の注意を拂ひ居るが如し而かも支那側よりは何等表立ちたる挨拶なく寧ろ秘密に準備を進め居る模樣なりと(大連)

◎奉天省金融界の梗塞

興銀の整理休業に關し客年不作の影響を被れる地方金融狀況は極度に緊縮し居りたるを以て農村收穫物の放賣は例年より早く入市商亦多く十一月初旬 ▲特產物の廻穀 一日馬車二百臺内外なりしもの追々增加し月末には千臺を數へたりと傳へらる然るに作柄は鐵入後豫想程豐饒ならず雜穀は例年に比し一割減なるも大豆は五分乃至一割減なりし事一般に信ぜらるゝに至りたるを以て市價は月初に比し大豆は五六十錢方豆粕は十一二錢方昂騰したるも内地諸市況活潑にして注文陸續として來りたれば廻穀は順調に消化せられたるもの如く爲に市場は例年になき活氣を呈し取引の增加を見たり從つて此方面に資金の需要急激に增大し沿線金融業者は勿論當市同業者亦俄に繁忙を告ぐるに至れり輸入市場は銀塊高に伴ひ需要益々多く綿糸布の如きは賣行き非常に好況にして十八年來曾て見ざるの盛況を呈せり尤も市中雜貨小賣は支那側金融硬塞の爲め豫想程活況を見ずして越月せり次に銀紙の差接近したる爲め支那銀行に對する ▲奉天兌換問題 は一時小康を見たりしも代換貨幣相場の關係上猶ほ兌換の利益あるを觀取するや少數錢業者再び兌換取附をなして奉天興業銀行の如き一日の兌換高五六十萬元に達せり爲めに輸出入の季節に入りたる事とて資金の需要を目前に控へ乍ら支那側銀行は何れも兌換取附を顧慮して新規貸出しを爲す能はざるの窮境に陷入り小洋票は回收一方となり昨年同期に比すれば七八百萬元の流通高を減じ廻穀代金の奥地に吸收せらるゝに從ひ市場通貨は益々減少し金融大に硬塞せり而して此の間錢莊其他の小洋票を買煽るあり金對小洋票相場は倫敦銀塊相場に比し更に格段なる ▲奔騰の氣勢を示し月末には金百圓に對し百十元八十錢を唱ふるに至れり斯る狀態の下に奉天興業銀行は十月三十日より一週間の整理休業を發表すれば流言蜚語擴廉億測盛んに行はれ省城金融界の前途を疑惧するもの漸く多く諸市況更に鈍狀に向へり然りと雖も同行に對しては支那官憲の熱心なる救濟聲明あり又一方には兌換制限の復活日支人間に唱導せられつゝあれば省城の金融疏通を見るも蓋し遠からざるべし

◎國境に發展せる製造煙草

朝鮮品獨占の時機近し矣 總督府技師 岡田虎輔氏談

製造煙草輸出入狀況視察として國境方面に出張せる岡田技師の歸來談に曰く

▲間島琿春方面 間島、琿春方面に於ては英米トラスト品次第に減退して朝鮮製品漸次增加の傾向あり殊に在滿津東亞煙草販賣所にては之れが輸出に全力を注ぎ居れるのみならず、間島方面に向つては會寧の有力なる煙草販賣業者、琿春方面に對しては雄基の有力なる販賣業者何れも鋭意擴策の歩を進め居れるを以て將來の發展は刮目に値するものある可く現に英米トラスト販賣店が間島を引き上げたるに徵するも朝鮮の製品が如何に有力の地步を占め來れるかを窺知し得可し

▲鴨綠江沿岸一帶 新義州より鴨綠江沿岸一帶の地に在りても朝鮮製品亦優勢を告げ其の對岸貿易に見るも大正三年以前に於ては朝、支の出入伯仲の間に在りしが今日にては支那よりの輸入殆ど皆無にして輸出一方の狀態にあり、又た安東縣市場に於ける朝支兩製品競爭の模樣を聞くに同一價格の製品にありては支那製品は到底朝鮮產品に及ばず就中朝鮮煙草會社製品三寶塔の如きは支那人間に非常の喝采を博し居れりといふ此の情勢にして推移せんか國境方面に於ける製造煙草が朝鮮製品に依りて獨占せらるゝの日は必ず遠き將來にあらざるべきを信じて疑はず、

▲東西の主要地 東朝鮮の輸出港たる元山方面に在りては將來葉煙草の耕作並に製造業の勃興を期待し得可きも目下は之れに對する適當の機關具備せざるを以て同地方に對しては漸次相當なる經營の歩を進むる要あり、予は之に關する調査を遂げ既に多少の腹案を得たるも未だ發表の時機に非ざるを以て暫く口を緘す可し又た西鮮の大部たる平壤に在

◎鐵道荷動狀況

十一月上旬に於ける鐵道荷動狀態を見るに發送噸數五萬六千八百二十噸收入十四萬八千四百九十三圓にして之を前年同期に比較するときは數量に於て七千四十七噸(一割四分)收入に於ては二萬九千四百六十八圓(二割五分)の增加に當れり

▲石炭 は前年に比し五百五十噸の減少なるも依然主要貨物中の第一位を占む

▲米 は本旬に入り出荷頓に活況を呈し前旬の一日平均五百噸餘の出荷より一躍八百噸臺に上り前年に比し約一割六分の增加を示せり

▲大豆 は前年に比し作柄極めて良好なりしと内地に於ける朝鮮大豆の需要增加せるとに依り内地移出依然殷盛にして前年に比し千二百九十二噸を增加し一日平均六百噸臺の出荷ありて今後引續き相當の出荷あるべし

▲木材 荷動き依然衰へず前年に比し千噸を增加し新義州發最も多く總數の四割五分を占む

▲鹽 は漁期にて出荷漸增加し前旬に比し三百六十一噸の增加なるも前年に對比すれば千百三十七噸の減少を示せり是は前年より出荷期早く既に最盛期の過ぎたるものなるべし

▲雜穀 は粟子小麥小豆等の出廻盛んにして前旬に比し九百四十七噸前年に比し千百三十一噸を增加せり

▲生牛 は全部内地移出にして水原鳥致院裡里平壤等より木浦經由百十頭釜山原龍山水原等より釜山經由八十四頭計百九十四頭を算せり

▲牛皮 は前年に比し稍減少を示せるも前年二百三十噸は出荷あり南大門發最も多く永登浦皮革會社に入るもの及び大阪神戸行を主とす

▲要之 本旬の貨物運輸は前年同期に比し鹽石炭鑛石等一二主要貨物に於て減退を見たるものありと雖も米大豆を始め雜穀木材等荷動き頗る旺盛なりしを以て二割强の增收を示し輸送狀況良好なりき

◎朝鮮の年金受給者 當局

最近の調査に係る全國の年金恩給受給者人員は三十三萬五千九百人金額三千四百六十七萬餘圓なるが右の内朝鮮在住者の受給は人員二千七百卅人金額三十七萬二千餘圓にして之れを各種別に擧ぐれば左の如し

種別	人員	金額
金鵄勳章年金	五一八	八七九〇〇四
旭日勳章年金	六五	三五四四
文官恩給	[illegible]	[illegible]
文官遺族扶助料	[illegible]	[illegible]
陸軍恩給	一〇六	一四七九八四
陸軍遺族扶助料	八	五六四二
海軍恩給	二〇	二〇五一二
海軍遺族扶助料	[illegible]	一二九三
學校職員退隱料	三四	五六一三
同上遺族扶助料	四	二〇九
巡査看守退隱料	三四四	二二五七三
同上遺族扶助料	一九	六一七
外國人扶助料	一	三〇

にして右は全部各道郵便局所に於て拂ひ渡す事となり居れりと

◎慶南檢米成績 慶尚南道

米穀改良組合檢査所に於ける十一月上半期の檢査高は玄米二千七百九十一叺にして十月下半期に比し二千〇一叺の增加を示せるは新穀の出荷季に向ひたる爲めなり而して上格は下格の三分の一强の少數なるは相場の騰に連れ出荷を急ぎ充分なる精撰をなさざると早刈入れの爲め靑米多く且つ乾燥不充分なる爲めとに起因せり特等米は品川精米所の石拔精選に係るものにして特別品なり上格下格の步合を示せば下格四、六四强上格二、二四强にして極力改良を督勵中なるも本檢査所の分は直接生產者に對し奬勵するもの少なく多くは商人の手に歸したるものを檢査するものなれば困難の場合尠なからず又た平澤烏山邊より未檢査の儘廻著する者も上格の資格なく爲めに下格の數多し大豆は先月下旬に比し二百五十五叺の減少を見る即ち本期の檢査高は二千六百九十九叺にして上格品は下格品より少きこと殆んど八分强となれるは畢竟精撰器の不備なると乾燥の不充分なることに因る目下極力器具購入を奬勵し改良を促しつゝあるなれども新穀取入と共に混戰狀態にあれば自然粗雜に流れ成績不良なり尤も準備整ひつゝあれば漸次改良の域に進みつゝあり檢查成績步合は上格百分の一下格百分の二、五五平均なり俵裝は近時朝鮮叺の製作を奬勵中に付之れが使用數增加の勢あるも尙内地產に比し遜色あり殊に平澤烏山地方より廻著の分は特に劣等なる朝鮮叺を使用し俵裝頗る不完全を極め居れるが未だ叺の改良に就ては前途遼遠なりと云ふべし(釜山)

◎仁川米改良に就て 京畿

忠南黄海等の各道より仁川に廻著する所謂仁川米は最近に至り乾燥調製に於ては改良の跡顯はるゝが如きも未だ米質改良の前途は尚ほ遼遠の感あるは遺憾に堪へざる所なり殊に黄海道產米の如きは耕作者の經濟關係上今遽かに米質の改良を期待する事能はず自然此方面の產米を移出するに當り下格米多き狀態なれば此れが爲め獨り仁川米の聲價を昂上せしむる上に於て障碍たるのみならず一般生產者の經濟に及ぶ可き影響を及ぼしつゝ有る者の如く營業者は一樣に米質改良の必要を認めつゝ有り併して此れが實現を期せんとせば宜しく耕地整理米種の改良當業者對米商の聯絡金融の流通等を計り米質を根本的に改良し以て廣大なる忠南一圓豐沃なる黄海道南半及び京畿道等の我が勢力範圍より廻著する仁川米の聲價を高めざる可らず云々と某米穀商は語れり(仁川支局)

◎來年學校增設見合 京畿

京畿道管内に於ける公立普通學校は總計六十校にして從來一二校宛の新設か又は私立學校中成績優良なるものゝ組織を變更して公立となし來りたるが大正六年度に於ては別に增設を行はず既設學校の整理を行ふことに大體の方針決定し居るものゝ如し

◎水越理事歸期

美濃部俊吉氏の後任として北海道拓殖銀行頭取に決定せる朝鮮銀行理事水越理庸氏は今月末歸京の上事務引繼の爲め約一週間滯在し而して任地に向ふ豫定なりと

◎釜山府人口

釜山府の調査に依れば十月末現在釜山の内地人戶數は七千九百五十九戶人口は男一萬五千四百四十一人女一萬四千三百十四人合計二萬九千七百九十九人なるが前月に比すれば戶數に於て七十五戶人口百七十九人の增加なりと

新義州

▲地租滯納處分 本年第二期地税未納者に對し新義州府廳[illegible]其一部は此程竣成[illegible]の据付を[illegible]ると依り試運轉を行ひたる處成績頗る[illegible] ▲向井[illegible]開催[illegible]が頗る盛會なりしと ▲鑛城金鑛出火 十八日午前三時頃平北[illegible]

平壤

▲京城高普一行 京城高等普通學校[illegible]一行は[illegible]附したり又十八日午後一時より兩校[illegible] ▲[illegible]社平壤分工場長交迭は[illegible]報の通り[illegible]餘名を大同館に招待し盛宴を張れり [illegible]十時開場道長官代理其他來賓の祝辭[illegible]三等二十五名四等四十一名なり ▲平壤競技大會 [illegible]

人事消息

▲大原庄太郎氏(釜山水產組合長) 二十日夜退京 ▲ホーデル氏(米人)▲ピラメール氏(英人)二十日夜入京朝鮮ホテルへ

露領行記

□イルクーツク (第廿三信) 琴花

○一度大火に罹りて名ある古建築物を失ひしとは云へ二百五十年の舊都として流石にイ市は整頓せる純歐洲式面目を具備す、アンガラ河其西部を貫流し水清きを以て一層の風光を添ふ、建築の最も壯麗なるは寺院にして十字架の燦爛たるもの五六を數ふ、此地舊と蒙古族の據りし處、今も猶ブルヤート人は土著の原住者として最も多し猶太人は金力に於て優勢を以て所有する家主ざんある程なり、市の大公道たるアンガラ橋に馬車(輻)八哥の橋貨取るの舊式なるも猶太の金滿家が既得權を有して新架橋の相成難きに由るとかや。

○市民十有五萬昨年以來ワルソーの民の此地に避難せるもの外に五萬あり二軍團の常備兵は悉く戰さの庭に出征してあらざれど西比利亞全補充軍の教育を此地に行ひつゝあれば約八萬の兵はあるべし、召集兵は給與すべき被服のあらざればにや召集時に著用し來れる其儘の服裝して萬樣の扮裝せる古武士若武者、床屋の裏の旅舍の横手と凡そ一個中隊宛手當り次第の空屋に營舍して調練すめり、更に奇なるは無慮千萬と稱する墺太利の俘虜が同じく左したる監督も無く其處此處の民家に收容されて暢氣げなるも我等の眼には珍らしく、遠くに遁走すべき交通機關もなく人里もなき野邊に逃るとも餓死外なければ、斯くは手數かゝらぬ方法にして濟むものなるべし。

○十五萬の都市に倍數以上の人を詰め込みしなれば空屋といふもの嘗て無く假へば壘一壘幾圓といへる類戰時中の我が宇品港に常に實現する所の如し、物貨の缺乏と暴騰は勢ひ下層の窮民を多からしむること止むを得ざるとは言へ一體西比利亞の大驛に列車の停まる毎に乞食の車内に構を求むるもの多きを我は國辱と思ひしがイ市に來りて同情する所多し、さあれ此の戰さの眞最中帝は親しく陣頭に立たせ給ひ民は酒を斷ち肉を節する秋に方り綺羅美やかなる紳士淑女?の群の幾千とも限りなく打連れて夜半を過ぐる迄も市中をさゞめ行く幗幟振りの美事なることよ、之れを相手に商賣の出來ぬやうな我が日本商人のありとせば宜しく大に恥て死ぬべき程のものなり。(二十九日)

□附録 四頁添附

農業世界增刊 十一月十五日發行 定價廿二錢(郵稅二錢)

實用促成栽培

專業として又副業として收益多く高尚なる娛樂用として流行の微あり促成栽培及び温床の構造を説き蔬菜類花卉類數十種の栽培法を學理と實驗より詳述す

東京本町 博文館

實業之日本

奉公人より獨立商人となりし實驗……獨立自營商三氏の告白

自治の精神……社長 增田義一

□安全第一主義の鞠香を嗅す……早稻田大學教授 內ケ崎作三郎

笑つて重荷を負ふ人……新渡戶博士

□實業上の平時編成を論じて工業動員に及ぶ……浮田博士

青年に自由を誨ゆ……男爵 石黒忠悳

余の收入を公けにして

三井の三營業部長……是れ三井新人物の面目躍如たり

外債應募得失如何……藤山雷太氏……安田善三郎氏

新化學工業品の發明

□水力電氣界の活動家……素秋生

□皮膚と粘膜の强健法……樫田醫學士

銀行監查役の大痛事(責任上の新判決例是非一讀せよ)

十一月十五日 第十九卷第二十三號 東京京橋 實業之日本社

朝鮮不動產商業登記申請書式並心得

朝鮮總督府裁判所書記 早川保次君編著 改訂增補第三版

紙數四百八十餘頁 定價金壹圓郵稅拾錢

本書は今や再版壹萬部を賣り盡し尚各方面よりの要求盛なり此の甚大なる江湖の大歡迎に對し更に改訂增補を行ひ茲に第三版を發賣するに至れり抑も登記に關する有ゆる知識は本書に説き盡して餘蘊なし

不動產登記の部には土地調查に關聯せる不動產登記法に依る申請書式、官公署の登記に關する囑託書式等併て百二十餘件並に印鑑届、印鑑證明願、保證書、土地變更事項に關する證明申請(京城府所定)委任狀、契約書、建物圖面及共同擔保目錄雛形等を掲げ加之官通牒、決議、實例等苟も申請人の參考と爲るべきものは擧て各書式の末尾に之を附して疑義を明釋し又

商業登記の部には未成年者、妻、法定代理人、支配人及各會社に關する書式等併て五十餘件を登載し且商號、會社にも了解し得べき程度に編纂せり

發行所 京城太平通一丁目 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

內科 胃腸病 診察夜九時迄

京城本町一丁目 石川醫院 (電話 [illegible])

へは注意を可し▲動林工場竣成　新義州木材會社にては過日來營林廠製材所下手に製材工場新築中なりしが六時より第二【illegible】旅館に於て數【illegible】を【illegible】

【illegible】嚴氏の爲有志の發起にて十八日午後【illegible】因【illegible】出【illegible】きたるが火氣の爲破裂せるに因るものにて損害約七萬圓の見込なりと

【illegible】日來市內及び戰跡見學の案內として京城生徒一人に平壤高普生徒一人を【illegible】前【illegible】時三十【illegible】驛出發開城に向ひ同地見學の上十九日夕刻歸京すべしと▲新衝江場長招宴　東亞煙草會社本田府尹澁谷警務部長大橋商議銀行支配人其他官民の重なる者【illegible】長官代理【illegible】事務官【illegible】部長各郡守等五十餘名にして午前【illegible】を授與せられしは一等二名二等八名【illegible】左の如し

大演習は上出來ぢや

古海將軍肥筑の平野より還りて

―南軍も北軍も練れた軍略―

這回の大演習に於ては兩軍々司令官の軍略も充分練れて圓滑に行つたし又兵士の實戰的教練も充分出來て居つた、殊に兩軍飛行機の如きは折からの

◇烈風中をも物ともせず偵察に攻撃に立派な成績を擧たやうである始め兩軍の想定には北軍は小倉附近から前進して久留米平野を占領する企圖に出で南軍は又熊本長崎兩方面から進んで小倉附近の敵を擊攘せんと圖り茲に兩軍は演習第一日に於て鳥栖附近の大野戰を試みた次第である、然るに久留米平野には兩軍の據つて以て

◇敵を惱まさんとする筑後川の天險がある、されば南北軍互に敵に先んじて筑後川を越ゆるといふとは軍の勝敗を決する上に極めて肝要なることであらねばならぬ、然るに南軍熊本の六師團は敵に先んじて川を渡り破竹の勢を以て南進の敵と衝突したのである、また北軍井口軍司令官の企圖といふのはなるべく速に筑後川左岸に出て一部小數の兵を以て

◇敵の前進を阻止し一擧軍の主力を提げて佐賀方面の十八師團を擊かんとしたのである、處が此の計畫は南軍の前進が速かなりし爲めに齟齬に歸し兩軍は共に鳥栖附近に衝突することゝなつた、由來川といふものは自分に利用して敵を妨げるに便利なものであるけれども兩軍共にこれを利用しようとするから容易に廉くは問屋が卸さぬのである、それでは

◇北軍は何故速に前進しないかといふのか、それがまた素人の考へるやうに行くものではない現に香椎、飯塚あたりから筑後川左岸までには十二三里の里程がある上に其の宿營地からそれを縱隊として前進せしめ且つ目的地で展開せしむるには尠くともあの日に一日廿里を行軍しなければならぬ、殊にあんな大軍團が戰鬪隊形に出づるには各

◇前進部隊の先頭が豫定の時刻に於て豫定の地區に出て來なければならぬ、決して自分勝手に單獨に進出できるものではないのぢや、然るに北軍の小倉師團が飯塚から冷水峠を越すにも折からの泥路に惱むで居るしあの場合筑後川で敵に機先を制せらるゝは蓋し止むを得ざるに出でたものぢや、何に北軍の二日市隘路退却に就てか……左樣

◇退却こいふものはなか〳〵むつかしいもので敵の急追擊を受ければ受くる程味方の軍は混亂して來るものぢやそれで多くは這回の北軍が行うたやうに夜間を利用して決行するのである、夜間なれば遠距離の銃砲火が届かぬから敵も盲目だし味方も盲目で我一歩退けば敵一步銃劍の届かぬ限り安全なものぢやが併し這回十二師團がやられたやうに

◇機關銃が潛行して側面から猛射するといふやうなことがあると大變ぢやが實戰の場合は生命のやりとりでなか〳〵演習のやうに潛り込めるものではない、それに子取持の北軍後衛一大隊を全軍三箇聯隊を提げて突擊した明石將軍の措置も君が云ふやうに大膽無謀といふべきではない、あの時敵は既に退却に決して居るし子取持の軍は

◇假令大軍であらうとも後衛であるとはちやんと解つて居るのぢや、それで明石師團長は此の英斷に出たものぢやらう、要するに北軍が針摺の隘路を退却するには容易ならぬ苦心はあつたと思ふのぢや、それから最後の多々良川の決戰かあれは實戰ならば第一線があれだけ接近して

◇一大突擊に轉ずるといふやうなことはない、實戰にはあの神天の意氣はいるけれども前線がバタ〳〵斃れるからあれだけ密集した部隊の突擊は見られぬなり、次

はまた鳥栖附近曾根崎御野立所前の大混戰の如きも實戰では稀れであるがしかし皆無とは云はれぬ、現に日露戰爭の奉天大會戰では敵の捕虜が銃をとつて擊ち出すやら

◇師團司令部に敵騎が殺到するやらそれは〳〵あれ以上のとは度々あつたよ、要するに這回の大演習は上出來ぢや

大使著京

東京驛の混雜

寺內々閣に入つて外相たるべき露國大使子爵本野一郎氏夫妻は十九日夜八時三十分東京驛著列車にて歸朝せり同驛にて同子爵家の受附所を設け外務省吏員本野家の人々と陣取り小村侯、松平三島の兩子爵船越男等先づ來り續いて來れる出迎人山を築き子爵夫妻を載せたる列車到著するや出迎人は潮の如く押し寄せ其の間を後藤男大島松室の各大臣井上公露國大使クルペンスキー氏等握手を交換し漸く人波を分けて構外に出で自動車にて麻布鳥居坂の自邸に入れり此の夜の出迎人は千數百名にして近來稀なる混雜なりき（東京特電）

◉追濱航空隊 卒業飛行

首尾好く成功す

本年六月追濱海軍航空隊に入隊せる第一期飛行學生は技術益々發達したるより二十日秋空一碧の快晴を機として東京灣一週の卒業飛行を試みたり此の日午前八時廿分フ式イの第八號機には山村中尉搭乘第十號機には三木中尉搭乘第五號機には海谷中尉搭乘艦て出發命令下るや三機共に離水し房相半島に向け翼を聯ねて飜翔し更に東京市東南端の上空を翔り築地海岸に沿うて無事歸隊せり航空時間一時間四十分飛行距離七十一哩なり（東京特電）

◆猩紅熱の豫防に就いて

隈部京畿道警務部長談

既往の慣例に據れば猩紅熱は冬期に於て發生の候空氣の乾燥最も甚しき時節に流行し溫暖の候空氣の濕潤せる時節には殆んど全く患者が發生せぬ即ち冬期嚴寒の時節には空氣の

□乾燥と砂塵の飛揚とにより咽喉を害し易く之れが傳染の機會となり發病の誘因となつて居る樣である之に就ては一昨年及び昨年春期の流行時機に於ける患家及び患者との關係に付て種々の統計を調べて見た其の結果によれば防寒の裝置なき內地人家屋に患者の發生多きこと氣溫は零度以下十度以內に多きことと天候

□天にして風日に多きこと之に反して雨天には患者の發生極めて稀に又は皆無なることが明かに數字の上に現はれる以上統計の結果を綜合し此の患者發生の實例より考ふるに其患者の家族等にして直接傳染の關係あるものゝ外は多くは室外に於て病毒に感染するものと推斷する事が出來る因て從來患者發生の際に於ける患家の消毒法を主として其の家の各室戶障子、疊、棧橋及び厠便所等

□屋內に止まりしも將來は庭先主として喀痰を吐棄したる虞ある室外に最も注意を拂ひ消毒法を行ふ必要あると思ひ又一般の豫防方法として塵埃の飛揚を防止すると云ふ事が最も肝要の事で與ろ今日猩紅熱豫防の根本義であると思ふ故に各個人に於ても一般に

□庭園內は勿論屋外道路にも適當に撒水すること道路を步行する際にも砂塵を吸込まぬ樣成るべく口を塞ぐこと咽喉故障あるときは速かに含嗽を加ふること且又喀痰は必ず痰壺に吐くこと隨所に吐棄するの弊風を矯むることは獨り本病のみの爲めならず肺結核豫防上にも極めて必要なる事項である以上は一般の

□豫防法であるが次に猩紅熱患者の年齡別を調べて見ると八歲より十四五歲迄位の小學校兒童が最も多い是れは子供は一體に大人に比して病毒に對する抵抗力が弱いと云ふ原因もあるが是等の子供は寒中でも屋外に出て遊戲し殊に學校では多數の兒童等が校庭にて砂塵の間を驅け廻り遊んで居るが爲め咽喉を害するのが主たる傳染の誘因をなすのであると思ふそれ故先づ第一學校の校庭に於ける砂塵の飛揚を防止する事が必要であるそれには校庭の周圍に牆壁のない處は之を設くる事にしたい冬は

□北風が多い故止むを得ざれば北側だけでも板塀又は土塀を設けて貰ひたい又校庭には常に適當に撒水する事にして欲しい前にも述べた通り雨天の日には患者の發生少なく否殆ど皆無の事が多い處から見ても校庭の撒水は學校兒童の罹病數を減殺する唯一の良法であると思ふ學校の中には塵埃の立たぬ樣教室廊下等に上草履をはかせぬ處もある樣に聞て居るが校庭の

□塵埃防止に付ては未だ何等の注意を拂つて居らぬ樣である今度總督府訓令で朝鮮總督府建築標準と云ふものを頒布せられ各學校營の建築に就て細密に規定せられて居るが學校々庭に於ける砂塵防止に關する地盤の構造に付き何等の規定のないのは經費の關係等急に要求も出來がたき理由も存せんが誠に遺憾に思ふ次第である學校々庭の砂塵は之を吸入する兒童の咽喉を害するのみならず彼の學校衛生の一問題となつて居るトラホームの如きも砂塵が目に入つて眼球眼瞼を害して之れが傳染の

□誘因を作ることになつて居るのである故に當學校に要求したいのは前に云ふた撒水の外成るべく塵の立たぬよう兒童の運動若くは遊戲の際砂塵の立ち易き日は相當の間隔を隔てゝ遊ばせる事及び砂塵を直接吸入せぬやう口を結ばせることである口を閉ぢて遊ぶことは出來るのみならず呼吸の持續の上にも亦衛生の上にも必要である軍隊の教育も以上の事柄は常に注意すべき點となつて居る

◉馬賊に捕はるゝ記（二）

僥倖にも萬死に一生を得た

屋外の銃聲は漸く近寄つて激しく成つた捕虜の私共が集まつて居るすぐ背後の壁に彈丸がボスツ〳〵と中るのが聞ゆる斯んな時に立ち上りでもすると直ぐに頭を彈が貫通して行くやうに思はれて私は地べたに獅嚙み付いて居た今にも

▽流彈が背中から落ちて來るやうな氣がして此の時こそほんとうに生きた心地は無かつた人の騷ぎ逃ふ足音が一をしきり烈しく聞ねたがそれから銃聲は次第に遠くなつて十一時頃にはモウ聞ねなくなつた樣子は少も曉らないが銃聲が聞ねなくなつたので私はムク〳〵と起き上つた私の腹の下の處は凍つた土が融つて冷たい泥が下腹に流れて居る體は氷の塊りのやうに冷めたく成つて居る他の捕虜はと見ると闇の中に默々と橫たはつた四十人の縛られて居る支那人共は

▲死で居るのか少しも判らない、塀の外も閑として人の氣配は少しもない私は此の間に遁れ出さうと考へて步み出したが飢と寒さとで直ぐに體は前の方へ踏めりそうに成る、これではとてもあの高い土塀を乘越して逃げる事は能きぬしよし土塀は乘越たにしてもそれから先きが何うなる矢張り賊の手に陷ちて慘殺されるかそれでなければ凍死するかの外はあるまい、どうせ死ぬなら夜の明けるまで茲に辛うして居つて夜明けを待つて兎に角又

▽逃げ出す工夫を考へやうと思つて居ると再び門前が騷しくなつたので私は元のやうに凍つた土の上に俯伏して居つた、骨を劊るやうな寒冷が再び新らしく體肉に喰ひ入るのである、私は夜が明けるまで命が續くであらうかと思つた此時急に門內にドヤ〳〵と百人ばかりと思はれる人數が這入つて來た又馬賊が歸つて來たのだと思つて居ると一人の男が大きな聲で叫び出した『大官〳〵』と大きな聲で騷ぐから私も外の者と一緒に首を擡げて見ると如何にも夫れは官兵であつた而し官兵には懲りて居るから私は其儘默つて居ると此度這入つて來た兵士は眞の官兵らしく其の隊長は私共の處にやつて來てお前達は賊に連れて來られたのかもう心配する事は無い夜明けも近いから明るくなつたら各自に歸るが宜しいと聞いて

▽私はやつご安心したそれと同時に今まで死んだやうに轉がつて居た捕虜の支那人共は一時に起き上つて騷ぎ出した『怖ろしかつた』『寒むかつた』『縛られて痛かつた』『饑じい』事などを饒舌りながら縛ばられた繩を解き合つて居る怖ろしさに縮み上つて居つた女や子供が急に激しく泣き出すやらで非常に騷々しく成つた私は其の中で獨ジツと默り込んで居つたが周圍の物が俄に安心して騷ぎ出したので私の心も幾分か緩るんだと見ゑて急に寒氣に堪へられなくなつた

▲官兵に殺されたら其れ迄だと決心して私はツカ〳〵門口の方へ步いて行つて『自分は馬賊に捕つて居つた日本人だが隊長が居つたら會ひ度い』と云ふと門番をして居つた兵卒が隊長の處へ案內して呉れた隊長は劉と云ふ吉林廿八師に屬して居る中校であつた『私は

▽奉天總領事から護照を貰つて旅行して居るものだのに怎んな目に遭されて困つて居る』と云ふと劉は私に大變同情して呉れて新らしい支那シヤツと支那服の上衣とを呉れたので私はやつとそれで寒さを防いで居る間に夜は曉けた昨日私を捕まへた馬賊は吉林と伊通縣との間に絕えず出沒して居る馬賊である事又た劉の一隊は討伐の爲め昨朝吉林から急行して來た事昨晚の銃聲は討伐隊の夜襲であつた事もやつと分明した夜が明けてから劉に厚く謝して私は吉林に向つた此の後今に至るまで私は劉と親交を結んで居る私は斯んな僥倖の下に萬死を出て一生を得た

▲次の遭難は其の夏の事でした私は博王府を經て土畫圖汗の王の許に行く豫定で五月下旬奉天を發し矢張り乘馬で法庫門に著いた時の事です

◉艀が沈んで

千餘圓の訴訟

京城苑南洞居住禹起東は朴勝彬辯護士を訴訟代理人として仁川本町居住汽船薩摩丸船主田中作二同仲町居住薩摩丸船長西東勝吉の兩氏を相手取り千百二十五圓餘の損害賠償請求訴訟を京城地方法院に提起し被害側は仁川居住訴訟代理人後藤連平氏を訴訟代理人として論爭したるも原告側の敗訴となりたるを以て更に一審原告人は之を不服とし京城覆審法院に控訴したる結果此程第二審に於て原審を廢棄し被控訴人は控訴人に對し六百圓に本年二月分の利息を附して支拂ふべしとの判決となれり事件の要旨に依れば控訴人は本年二月廿四日忠南唐津郡沙扱浦より其の所有なる玄米二百五十三叺を仁川に向け運送するに際し之を金士善外數名の船夫に依賴し同人等は二隻の木船に件の玄米を滿載したるものを折柄唐津より仁川に向け出帆の薩摩丸に曳船賃十圓の契約を以て仁川迄の曳き方を依賴し同日午後九時頃仁川港外に差蒐りたる頃俄かに荒模樣となりて風浪激しくなりたるより西東船長は金士善等に對し此儘曳き行くは危險なるを以て本船と別離し適當の箇所に避難すべしと命じたるに同人等は強いて其儘曳き行き呉れとの懇願なるより詮方なく航行を繼續したるに間もなく件の小舟二隻は風波の爲め沈沒するに至り船夫等は辛くも本船に救助されたるも是が爲め前記控訴人なる禹起東は玄米全部を流失するに至り一千百二十五圓餘の損害となりたるものなりと右に就て二審に於て審理の結果其過失責任は双方共にあるものとし依つて被控訴人は控訴人に損害額の約折半なる前記六百圓を支拂ふべき旨判決となりたるものなりと

◉衣類を喰ふ

京城本町三丁目居住埼玉縣北埼玉郡加須町生れの前科二犯福田親光（三五）は九月二十六日大和町二丁目大迫某女より縮緬羽織一枚（二十圓）の賣却方を依賴せられ之を南山町山田質屋に十五圓に入質して內金五圓を詐取したるを手初めに同樣手段にて外數名の婦人より衣類の入質又は賣却方の依賴を受け數十圓を橫領詐取したること發覺し本町署に檢擧されたり

◉呉服屋の丁稚

京城大成町居住埼玉縣秩父郡大宮町生れの福島勝藏（一六）は元本町二丁目秩父屋呉服店に雇はれ居たるも解雇されたるものにて解雇後十一月十一日忠信洞林田たき方に至り尙秩父屋の店員なりと裝ひ釣錢不足の爲め一寸四圓貸し呉れと之を騙取し尙同人より縮緬小紋二重物を他に賣却し呉れと依賴されたるより內一枚（廿圓を）翌日直ちに南大門通の米澤質屋に福島正と僞名して金十圓に入質し之を以て新町遊廓にて遊興し居れる所を本町署の刑事に引致されたり

◉コラン逝く

佛國畫界の損失

世界の美術界に大なる感化を與へ又日佛國交の親密に努めたる功に依り我が皇室より勳三等を贈られたる佛國名畫家ラファエル、コラン氏は去月一日巴里に於て逝去せり（東京特電）

◉鮮人消防小頭へ　京城府麻浦消防組小頭金允佐は虎疫流行當時などは頗る努力したるに十八日病死したるを以て京城消防義會よりは二十日の葬送に際し弔詞を呈したり

◉通俗教談者中岡氏入京　松村介石氏の『道の友』に關係せる通俗教談者中岡默堂氏は滿鐵の招聘を受け同地方に巡回講演を行ひ更に北鮮方面各地の視察を爲したる上二十日入京したるが當地にても鐵道局、朝鮮教育會、各學校等のため講演を行ふ可しと

◉仁川神社の大祭　仁川神社にては二十三日は新嘗祭に付き公式大祭を執行し久木府尹氏子總代等の參拜ある由

えんげい

▲吉田一若　東都浪花節界の新進として好評を博しつゝある吉田一若は今回渡鮮すること〻なり來る二十二三日頃より本町有樂館に出演する筈にて近日中に華々しく乘り込み來る由なり

△黃金館の封切寫眞　二十一日より全部新寫眞の差し替をなしたる新寫眞中新派劇晴れ行く雲は天活苦心の傑作寫眞にして今回始めて黃金館に封切上場せるもの〻由にて第五黑い猫その他の新寫眞は左の如し

△寶島海底の動物△滑稽【illegible】△活劇【illegible】第五黑い猫第十一編案外の救助第十二編鐵道の破壞第十三編二人の生死？六卷△新派劇晴れ行く雲

△浪花館　東京落語橘木川柳一座にて開演中なるが相變らず好評にて十三日目廿一日夜の出し物左の如し

△【illegible】△【illegible】△【illegible】△【illegible】△【illegible】

機關士募集　スチームウインチ運轉に經驗ある者十名至急採用す履歷書携帶本人要來談　宮內景福　大倉組工場　753

捕鳥用カスミ網　小鳥捕用二棚　三間物四十錢　五間物三圓八十　用其他大鳥捕用種々あり　京城永樂町二丁目　吉備商會製網部　673

角形石鹼元祖　浦本石鹼工場　京城南米倉町二八四番地　電話二二九四番　振替京城三三一三九番　759

造花部生徒募集　年齡十三歲以上廿五歲以下　月謝不要　私立京城女子技藝學校　760

女子集金人至急入用　希望の方は履歷書携帶來談のこと　京城大平通二ノ三二六　商業銀行橫券部電二八三一番　757

事務所向貸家　支那領事館通り　希望の方は電話一一四〇番へ　753

銃砲火藥獵具　京城本町三丁目電話二〇九二番　增戶銃砲店　755

賣家釭丹茸　總監部前通り建坪約四十【illegible】　右十一月二十二日正午入札賣却　京城大和町三ノ四　電話千八百十一番　小川所有　黃金町三丁目十五番地

◉質　業開　黃金町三丁目停留場　永樂町北入萬成舍隣　濱田　750

◉京城春川間行自動車　京城春川間每日午前八時出發　賃金片道四圓　南大門通一丁目電話二一九番　京城春川廣橋自働車組　主務　金正淵　630

毛皮なめし並に仕立　鳥獸剝製調進販賣　京城本町二丁目電二〇六五　椿元商行　612

京日案內

◉學校の前にて有望なる文房具店歸國に付讓渡したし　姓名在社　752

▼古本類御用命は安全で信用あるウツボヤ書店　京城本町◉振二三三　591

◉事務用煉瓦造二階屋大小數棟有　貸家京城長谷川町五八番地　ゴルシヤルキ　756

給仕採用　年齡十四、五、六歲尋常小學卒業以上希望者は履歷書携帶本人來談あれ　東洋拓殖株式會社　745

◉古本熱心高價買入　是非御試を乞　▲御報參上　▲本町四　電話二七八一番　書肆群書堂　713

◉金融　官吏商人理髮店に極秘信用　月賦日掛貸金委細來談を要す　本町電車終點　質商　大和屋　747

普通一回前金一番外六十錢【illegible】　▲申込後中途揭載中止の節は料金返戾せず

生徒募集

本科生　三拾名
專修科生　二拾名
撰科生　若干名

本科は尋常小學卒業以上の素養ある女子に裁縫を主として修身、國語（講讀、作文、習字）手藝（刺繡、造花、生花、茶之湯）等を授く（修業年限三ケ年、月謝一圓五十錢）專修科は裁縫を主として手藝を授く（修業年限一ケ年、月謝一圓五十錢）撰科は裁縫及手藝中一科を授く（月謝一圓）遠路の者には舍內に寄宿舍の設ありて教師監督す

京城三角町九一　實修裁縫學舍

歸着仕候間謹告候　京城旭町一丁目　小林醫院　小林千壽

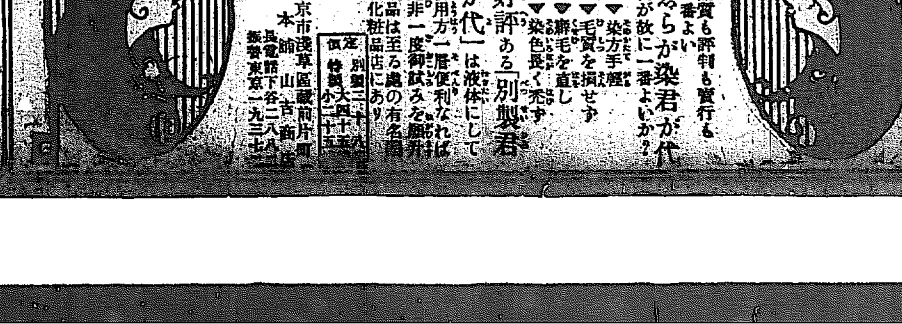
酒煙草 になる きらひ薬

どんな酒煙草でも嫌いになる、大澤博士の禁酒丸……禁煙液……其他名士の郵券二錢送れば說明書及禁酒禁煙論進呈　本舖　大阪市靱南通二　森田商店

新刊書御案內

書名	著者	定價
工業數學	深井宗吉	三、〇〇
公債要論	田中穗積	一、八〇
萬葉集新釋	豐田八十代	一、八〇
萬葉相聞集	小林花眠	八〇
生命の一路	畔上賢造	一、四〇
縮刷幽靈塔	黑岩淚香	一、三〇
學生論	奧田義人	八五
心靈の現象	福來友吉	一、三〇
近世立志編	稻村徹元	八五
米國研究	教育學術界	一、〇〇
大正青年と帝國の前途	德富蘇峰	一、八〇
簡易生命保險通解	小野義一	一、二五
實傳楠公誠忠記	山田得翁	一、六〇
實用秘傳家庭割烹法	秋穗敬子	九五
例解詳說英文典新釋	清水起正	九〇
最新式實際的佛蘭西語獨習	賀川哲夫	一、五〇
佛蘭西語教科書	松井知時	九〇
新式日本歷史年表	島田裕平	一、五〇
法理詳說判例參照債權者の法律顧問	森建雄	特一、八〇

大阪屋號書店　京城本町二　電話一〇八六番



女鳩（めばと）

渡邊默禪

「一六六」發覺

『ふむ、慰藉料を出せ？いかほど欲しいのか』。子爵は微笑した。

『一日千圓。十六日間で一萬六千圓だけ要求すると姉は左様に申して居ります』。生駒は空嘯いた。

『左様か、それは廉いものぢや』。

『お遣し下さいまするか』。

『いや出せん。一錢たりとも左様な無法な要求に應ずる譯にはいかん』と凜然として言つた。『鈴木、お前が不注意で監禁をしたと言はれるなら、是非が無いぢやないか。潔く法律の制裁を受けるがよい。同時に輝子を窃盗罪として告訴せい。秀も孝も共犯ぢやから覺悟しろ』。

『はゝは』。鈴木は平伏した。思ふ壺が外れたので生駒は苦い顔をした。秀子とお孝は驚いて顔を見合つた。その時後の襖を開けて、すつと入つて來たのが大野だつた。

『鎗山子爵に申し上げたいことがあります』。無圖と生駒の側に坐を占めて『告訴をなさるならお序に最う一つ、附足して戴きたい事件があるです。それは外ではありません。恐ろしい殺人罪です？』と聲を高く響かせて『豫じめ謀つて人を殺さうとした重罪です』。

『むッ、何ぢや？』と。

子爵は勃然として目を聳てた。生駒は忽ちぎくりと怯れた。

『それも一つぢやありません。同じ犯罪が二つも累つて居るです。その被害者は其處に居らるゝ鳩子さま。また大河野子爵であります』。

一座の人は愕然とした。大野は更に破るゝばかりの聲を振立てゝ『加害者は此の生駒吉十郎ですッ』。

『むゝ』。子爵は唇を咬んだ。見る見る生駒の顔面筋は痙攣と衝に吊されたやうに痙攣つて、眼の色までが變つて來た。

『莫迦を云へッ、大野ッ。汝、發狂したかッ。ちよ、ちよ、冗談も場所によるぞッ』。

『まア、靜粛にしろ。生駒は輝子と共謀して、此の大河野家を秀子に相續させたい野心から、正統の相續人たる鳩子の生命を斷たうとしたんです。その計畫は今回の旅行先に於て都合三回までも實現されました。けれども鳩子さまにはいはゆる天祐があつたんでせう。不思議にもその危害をまぬかれて、三度とも失敗に了らせたのが。もう爭ふの能きない明白な事實であります』。

『これ／＼、汝。何を證據にそんな出鱈目を言ふのだ。いゝ加減な嘘をついて、わ、我輩を陷れようとするのかッ。狂人奴、無禮なことを言ふと承知せんぞッ』。生駒は躍起となつた。

『汝、證據を見たいのか』。

『む、見せい？有るかッ』。

『さ、是に覺があるだらう』。大野はポケットから小さな紙片と紅いリボンとを出した。『いつか山形の神町に泊つた時だ。汝はこのリボンを目印に、竹の串にさした手紙を宿屋の屋根にさしてあつたぢやないか。この手紙は一體誰にやらうとしたのか。誰にどんなことを爲せようとしたのか。よく良心に問いて見ろ。待てッ今讀んで聞かせるから……今夜の一時——二階の窓から入れ——鍵を外して置く——金は壁にかけた外套のかくしにある……と』。

讀み上げた時に、生駒は慌てゝいきなり其の紙片を引奪つた。『む、こりや僞筆だ。怪しからん』。矢庭に傍の火鉢に投入れると、火氣に蒸されてぼつと燃えた。

『焚いたな、ハツハツハ』。大野は笑つて『よし、それでは焚くことも壞すことも能きない活きた證據を見せて遣らう』。後を振回つて『おいッ、君。來たまへ』と呼んだ。

その聲に應じて襖がごとりと開いた。齊しく注がれた多くの視線に、忽然として映し出された青い衣——寒げな姿の見窶らしい顔をして、のつそりと入つて來たのが、死刑の工夫の源太であつた。

『あー』。生駒は戰慄した。

『へえ、其平御免なすつて』。源太はぎごちなく坐り込んでお辭儀をした。そしてひよいと擧げた目を一直線に生駒の方に飛ばして、にやりと笑つた。『おい、おい。大將。駄目だよ。あきらめツちめねねな。ヨー、男らしくよ。古い文句だがこゝらが年貢の納め時なんだせ。エへゝ、何をびつくりしてやがるんでい』。

花柳病 皮膚病　京城府永樂町一（商品陳列舘通坂の上）　須古醫院　電話二一〇二番

外科一般 皮膚科 淡尿器科 花柳病科　院長 安部修三　京城永樂町二丁目金光教會隣　安部醫院　電話西一九番

南山町三丁目巴城舘通 電話二九二〇　齒科診療 橋本齒科醫院　齒科醫學士 橋本清次郎

十夜吟

火鉢、水鳥　浮碧樓

火鉢抱く屋根に屋根大工の日
水鳥居らずなりし紅いシグナル
水鳥に鳴かるゝ提灯さげたり

○　坡柳

水鳥ら女は足はかどらぬ
火鉢にかざす手の糸のもつれ

○　華虹

いつかあとなき手ずれ火鉢
水鳥淋しくはてしなき道

○
羽毛ひら／＼と火鉢の力　虎耳堂
○
火鉢に輕く指反る　鳥
顏句ふ火鉢に暮れ居り
水鳥の糞しに上る岩かな
石船だふ／＼水鳥動かす

□大田湖南吟句集

薄氷

薄氷の跡なし鴛鴦の温みより　桃雨
薄氷や曉濤を渡る風　同
千上らぬ足跡薄く氷る道　待宵
沼渉る夜々の狐や薄氷　同
薄氷に凍てつく鐘の響哉　十亭
薄氷や御山下たれは眠る町　同
凧起の釣瓶に殘す薄氷　中京
底に動かぬ瓶の金魚や薄氷　同
薄氷や砥水に染まる鉋屑　十市
荒れ顏の剃刀負けや薄氷　同
薄氷の道等に泛る朝　淡水
障子の破れ目にゝ朝や薄氷　西水
嗽の歯に泌む朝の薄氷　夢樂夫
都へ五里筧の水や初氷　覓水
星降くに江風のうなり薄氷　千里
朝諧つるに拍手寒し薄氷　同
夜を離る雲を動きや薄氷　同
囚人の石垣積むや薄氷　不醉
更けぬらし句會の硯薄氷　江月
薄氷や家鴨桒による川中洲　雅溪
長江の砂原廣し薄氷　月波
泥濘の足駄の跡や薄氷　青峰
宿醉起の湯漬をよへり薄氷　いかり
曲江の薄氷に山映りけり　風骨
摺鉢に貝生かす水や初氷　同

新刊紹介

▲産業組合の設立と經營（石田傳吉著）本書は著者が最近各府郡農會其他の囑托に依り地方自治圏の爲めになしたる數十回の講演筆記を加除訂正したるものにして產業組合の本來より產業組合の實體（創始、運營等を設述）し猶產業組合關係法規を附錄せり所論實際的行文平易地方に於ける公共事業實地經營の任に在る者の爲めに無二の師なるべし（八十錢東京市京橋區南傳馬町有隣堂）

▲家庭小說 姉と妹（井田絃聲作）大阪每日及東京日日に連載して好評を博したるものを今回山村耕花の裝幀と畫に依り盛裝して出でたり實業家樽井家の姉妹を背影として子あるを秘して嫁ぎたる姉と其の子を引受けて養育せる妹と共に孤兒にして有爲なる二青年との間に於ける錯綜せる戀を描きたるものにして因果の理法と勸善の德と親子の愛の力とに作者の用意を見るべし（一圓二十錢東京市日本橋區濱町二の一二須原屋）

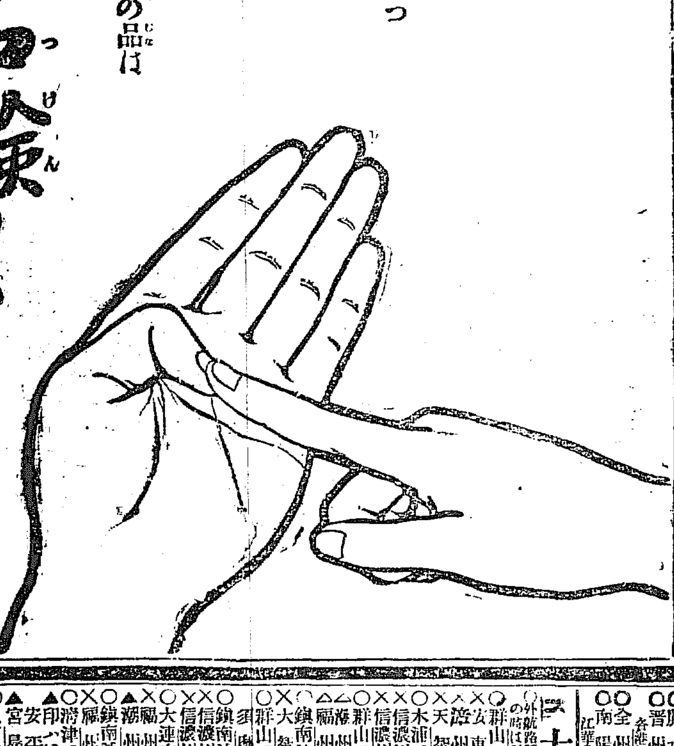
▲朝鮮公論（十一月臨時號）十一月一日發刊の本誌は又復發賣禁止の厄に遇ひたるを以て數日に臨時號として本號を發刊せり寺內伯を送りて長谷川總督を迎ふ（牧山社長）寺內閣論（秋元子爵、大場博士）長谷川總督論（大岡育造、杉田定一、小川平吉）及朝鮮と三度大原長官を論難して鐵道局の改革を促す（社論）を載せ猶ほ一夕百五十萬圓のラヂサム（今津明）雜著は化者だ、名士と進歩は他文苑如例華かなり（二十五錢東京太平町二其社）

▲續京日俳句鈔（石島雉子郎選）選者が京城日報俳壇の選を辭する迄約一年間に掲出せし俳句を主とし之に同じく選者の關係せる雜誌朝鮮及び滿洲並に工友に掲載せる句を加へて選鈔一卷とせるものなり選者其の序の一節に曰く『前鈔よりも材料の點からであつたにも拘らず紙數の都合もあり更に選句の標準を高むるの餘儀なきに至つたのは遺憾であるが一方から云へば爲めに此の集の權威を重からしむるを思へば捨て之れを喜とせねばならぬであらう』と前鈔に比し一段の光彩あるは論を俟たず（三十錢京城黃金町一丁目有介方浮城舍）

油繪揮毫御

寸法
（竪一尺七寸 横一尺三寸二分）（定價一圓廿錢 特價八十錢）
（竪一尺四寸五分 横一尺一寸二分）（定價一圓 特價六十五錢）
（竪一尺 横七寸五分）（定價七十錢 特價五十錢）

人物動物は三割增し風景畫は右特價にて揮毫す▲肖像畫は寫眞御送附あれば二週間內に揮毫す（金額付七圓）
大阪天神橋筋二丁目　松田大寶堂　振替大阪二九八四九番



純良第一
にして猶ほ且つ
有効第一
廉價第一
信用第一
所謂理想的安全第一の品は
品質本位
花王石鹸！

小兒用 大學目藥

十歲以下の小兒の眼病には特に研究配劑せる小兒用大學目藥を御用ゐあれ。

七日ツケタラ鏡をごらん色白くなるダンソノ液
小瓶二十錢 德用四十錢
今東京で大評判の元素液色黒き顔赤き顔日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに眞に色白く美人美男子となる全國の藥店小間物化粧品店にあり近所に品切の時は切手代用御送附あれば送品す 送料內地八錢 滿鮮卅錢 臺樺廿錢
東京神田和泉橋際　松本藥店

京城本町二丁目 電話二四二番
贊化病院
內科 小兒科
入院隨意
每日五名を限り無料施療す
醫學博士 古城憲治
同 醫學士 上野亮藏

衛生 病毒豫防
品は上等ゴム製なれば柔で且丈夫な衛生上安全第一の必要品也
上製拾個四拾錢廿個七拾錢 特製拾個六拾錢廿個壹圓 拾錢女用壹個五拾錢 特製八拾錢（送料各八錢）郵券代用壹割增
東京北品川町百五十四番地　日新館製劑部　電話芝四七八番 振替東京參貳貳貳番

衛生必携品 ルーデサック
一個十錢 十個六十錢 廿個以上一割引 女用四十錢 八十錢 郵券代用一割增 外に要送料
京城黃金町三丁目　山田文球堂藥房　振替京城二二七番

日韓書房 新版報告
岡本米藏著 修學行商日記 定價三十五錢 送料六錢
山井鱗治著 鮮普通文文官 應試提要 定價七十錢 送料六錢
德富猪一郎著 大正青年と帝國の前途 定價八十錢 送料十錢
長岡春一著 大戰外交史 定價一圓半 送料十六錢
朝鮮總督府 普通文官見習雇員 試驗問題及解答 定價六十錢 送料六錢
京城本町二丁目 日韓書房 電話一四五一 振替口座一五

●質屋開店御披露
謹啓 各位益々御清榮の段奉賀候 扨て弊店儀豫て京城明治町二丁目（舊駱町）へ新築中の營業場所今般全部落成仕本月二日より開店致候に付ては尙今後共一層御寄樣本意にて親切確實に營業可仕此段御披露申上候 敬白
尙完全なる倉庫の設備致候に就ては諸物品の保存は勿論火防盜難豫防上至極御安全に候
京城明治町二丁目廿二番（舊駱町）　大塚質店　電話一八四九番
舊龍山元町二丁目（舊老松町）　大塚質店　電話五六五番

大邱浦項間自動車時間
大邱發り 前八、一〇　後一、〇〇 ……
浦項發り 前八、一〇　後一、〇〇 ……
大塚農場自動車部 大邱出張所　電話一一七番

尼崎汽船 仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神阪行
○大有丸 十一月廿日後四時出帆
○秀吉丸 十一月廿五日後四時出帆
○君か代丸 十一月廿七日後四時出帆
○神代丸 十一月廿一日後四時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

阿波共同汽船 仁川出帆
○芝罘、大連行
第十共同丸 十一月十九日入港 十一月廿一日正午出帆
關東都督府命令航路朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡輸送御取扱仕候 大連にては當局行定期船接續荷客共直航船と同運賃にて通し輸送御取扱可仕候
本町四丁目（電話一七三番） 阿波共同汽船株式會社
仁川代理店 野口商會
元山代理店（春日町 電話二四七番） 田口回漕部
京城取次店（南大門通 電話二六八、二〇一七） 河村運送店

日本郵船 仁川出帆
○大連、太沽行 高砂丸 十一月廿日 正午出帆
三河丸 十二月一日 正午出帆
○大連、秦皇島行 相撲丸 十二月十二日 正午出帆
仁川海岸町一丁目 電話 堀回漕部

寫眞
寫眞出張撮影 寫眞銅版 亜鉛凸版
最も精巧なる技術を以て最も廉價に迅速と叮嚀親切を旨とし御高需に應候
京城日報社 寫眞製版部

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戶、大阪行 ○立神丸 十一月 日後五時出帆
○小倉丸 十一月 日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行 ○立神丸 十一月 日後十時出帆
○小倉丸 十一月 日後四時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行 ○第三琴平丸 十月 日後六時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行 ○第三琴平丸 十一月廿八日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天眞丸 每月二日九日十四日廿一日廿六日 午後一時出帆
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

朝鮮郵船 出帆
本社 京城南大門前 電話長一九五二番二三番 出張所代理店外各取扱店
○全羅丸 十一月廿六日　○京畿丸 十一月廿一日　○黃海丸 十二月一日　○成鏡丸 十二月一日　門司より釜山各港寄港基隆行 釜山發
○穩城丸 十一月 日　○昌平丸 十一月廿二日　○鏡城丸 十二月十一日　元山より各港經由雄基行 元山發
○第二錦旗丸 十一月 日　○忠淸丸 十一月廿二日　○平壤丸 十一月十三日　城津清津浦鹽行復航釜山より門司又は長崎行 元山發
○盈德丸 十一月 日　甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行 釜山發
○江陵丸 每日　○襄陽丸 長生浦方魚津寄港 釜山發 浦項發
○三浦丸 十一月 日　長承浦、麗水、巨文島、濟州島各港寄港 釜山發
○海州丸 ○統營丸 ○巨濟丸 ○慶尙丸 每日 各港經由馬山行 釜山發
○順天丸 三日目每に 木浦發
○慶興丸 十一月十九日 各港經由濟州島行 木浦發
○慶興丸 十一月廿二日 南多島、海列島行 木浦發
○公州丸 十一月 日 各港經由濟州島行 木浦發
○宗信丸 十一月 日 海州他各港經由、德洞又は白翎島行 仁川發
○江原丸 十一月 日 青島、大連、芝罘行 仁川發
○晋州丸 ○麗水丸 十一月廿一日 各港經由木浦行 仁川發
○全州丸 ○南陽丸 每日午前 江華島、桐橋島、海州行 仁川發

大阪商船 仁川出帆
外航路所屬航路遠洋航路を除く同航路乘船の時は五分引きを以て連絡切符發賣す
○安東丸 十一月廿三日 群山、木浦、釜山、關門、神阪行
×天智丸 十一月廿二日後五時出
×安東丸 十一月廿八日
○木浦丸 群山、釜山、巖原、鯖の浦、長崎行
×信濃川丸 十一月廿五日後二時出
×信濃川丸 十二月十三日後二時出
○群山、釜山、極浦行
△福州丸 十一月廿二日後二時出
△福州丸 十一月廿八日
○鎮南浦、門司、神戶、大阪行
大智丸 十一月廿五日正午時出
○群山、神戶、大阪行
須磨丸 十一月十九日正午出帆
○鎮南浦、大連行
×信濃川丸 十一月廿一日正午出帆
×信濃川丸 十二月八日
○大連直行
福州丸 十一月十六日正午出帆
湖州丸 十二月八日
▲鎮南浦大連行
×福州丸 十一月廿三日正午出帆
○濟津、浦潮行（元山出帆）
▲印城津西湖津ニ寄港浦潮不寄港
安平丸 十二月五日後二時出
▲宮島丸 十一月廿一日
○上海、基隆、打狗行（大連出帆）
基隆丸 十二月一日午後四時出
湖北丸 十二月十二日午前六時出
御注意 ●京釜線及び京義線の各驛に於て連絡切符發賣仕候●御乘船御申込は遲くも出帆時刻の約一時間前迄に願上候
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二三番 五五〇番
京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七〇八番
●中國四國沿岸各港船客に對し一割引を以て運賃割引仕候

商況
下關期米特電
大阪期米（二十日）
▲後場の手振
▲買能く買ふ
▲荷小相場手

京城日報

附錄

●西鮮唯一の貿易港たる我鎭南浦

鎭南浦府尹 中野太三郎

抑々我鎭南浦は平安南道の西南端大同江の下流右岸に位する西鮮唯一の貿易港である、前面に大同江を控へて黃海道と相對峙し港内は水深く優に一萬噸の巨船を浮ぶに足り築港亦完竣し大小の船舶碇繋至便常に船舶輻輳し陸には鐵道平壤驛に至つて中央幹線に接續し西鮮一帶に於ける貨物此處に呑吐して居ると云ふ有樣であるから從て商工業は熾んに勃興し殊に昨年久原製鍊工場の新設に伴うて市中は一層の活況を呈し日を逐うて移住者も增加し今や内鮮人を合し六千戸二萬二千有餘の人口を算するに至り府の區域も狹隘を告げて來たと云ふ狀態であるから市の發展上永遠の解決として此の際府區域の擴張と云ふ事が目前の急務として刻々迫つて居ると云ふ有樣であるが翻つて開港當時に遡つて見ると實に人煙稀薄風物荒寥たる草毛の一漁村であつたものが明治二十七年五月偶々日淸戰役の起るに及んで我艦隊は當港を碇泊所に定め又陸軍は兵站線の基點としたものである其結果當港の價値は一時に揚り内外人の均しく認識する處となつた譯だ其の平和克復後は内地人の移住するものも漸次增加し越ねて三十年十月には當港を以て各國通商港に定められた爲め稅關も新に設けらるゝ事になり亞で各國居留民會日支各領事館等の設置をも見るに至つた次第であるが當時内地人として僅かに三十八人未滿であつたが其の後三十七年日露の戰端開かるゝに及んで軍需品の供給者或は用達其の他の商人等踵を銜いて來住し戰局の進展するに從つて各地からの移住者激增し市井俄に盛況を呈し來り土木建築の業亦一時に勃興し市况は茲に一新局面を現出するに至つたものである其の内日韓併合と云ふ大業成つて以來總督施政の方針も定まると同時に秩序も革まり街衢の整理も益々精度を加へ市區の面目一新し市街の體裁備はり現今の如き健全なる都市の建設を見るに至つたのであるが如斯僅か十數年間に此の急進的發展をなしたと云ふ事は種々の原因もあるであらうが要するに當地は根底を商業の上に置いて發展の萠を生じ良港を控へて航行を利し陸には鐵道の敷設を見るに至れば中央幹線に連結し殊に平壤とは經濟上唇齒輔車の關係を有し又一線鐵路を以て遠く滿洲との連絡容易であるが上に西鮮唯一の都市として海陸貿易連絡の地點として當府を措いて他に求むべからざる地の利が大なる原因をなして居るのみならず先來有志が此の天然地理を利用し獻身的努力の功績亦與つて力ありとして沒すべからざるものあり兩々相俟つて今日あるを致したるは實に悅ばざるを得ない次第である、又市民は内鮮人融和し官民協力一致以て常に共和平を維持し恰も一大家庭の如く殊に内鮮人中には公共心に富みたるもの多く從つて萬般の市政亦滑かに行はれ些の障碍を覺わざるは誠に爽快に堪わざる次第であつて植民地に於ける都市として稀れに見る處であるとは夙に世間に謳歌されて居る次第であるが是れは一面内鮮市民中に模範的中心人物多きと總督施政方針の透徹した賜である、と信せらるゝのである、先づ大體の狀況は之れで紹介した積りであるが街二、三施設其の他の事項を述べて參考に供する事にしよう

▲氣候及衞生狀況● 氣候は内地と異り大陸的の影響を受くると云ふ事は鮮地一帶の常態であるから自然寒暖の激變は免れない事實であるが然し春秋二季は氣候大概溫和で空氣も極めて清澄で健康には適して居る冬季と雖も寒氣は札幌に等しく夏季は東京以北に髣髴たるものである大正四年の平均氣溫を見るに一月攝氏零下七度五分を最とし七月の二十五度五分を以て最高とする位である衞生狀態は大に好殊に近時鮮人の衞生思想は頗る發達し從來鮮人部落は頗る不潔汚穢で流行病源の媒介を爲したものであるが昨今は消潔方法も周到し種痘奬勵の結果痘瘡の流行も其の跡を絕ち赤痢腸窒扶斯等多少あるも病症一般に輕易で死に至るものは尠ないが之れは一面醫療機關の普及と水道敷設以來用水善良となつた事も大に原因をなして居る事と信せられる公衆衞生上府の施設としては汚物掃除下水溝浚渫隔離病舍の設置、屠獸場、火葬場、共同墓地等の經營を司掌し傳染病の豫防消毒、淸潔方法、種痘の奬勵等をやつて居る

▲産業狀態● 農業に就ては特に逃ぶる程の事もないが果樹の栽培種苗の育成は逐年隆盛に赴いて居る金融機關としては朝鮮銀行、平安農工銀行等の支店會社としては商業電氣業、運輸業、請負業等に屬するもの八、各種保險會社の代理店三十四の多數に上つて居る工場は近時長足の發達を爲し精米工場、中村組、造船所、久原製鍊所、富田製陶工場等頗る見るべきものあるが就中久原製鍊所の設置は朝鮮に於ける鑛業經濟の發達を促進せしむる上に於て極めて時宜に適したるの經營で朝鮮に於ては只是あるのみであるが日々二百八十キロワットの電氣力を使用し原動機を運轉させ從業員は内鮮人を合し日々三百四十名を使役し一箇月の製鍊元鑛量一、二〇八、六九五貫三四七、七六六圓と云ふ巨額に上つて居るが本工場は益擴張する模樣である

▲教育宗教の現況● 公立學校として小學校普通學校實科高等女學校は簡易商業專修學校幼稚園及び本年新設の道立商工學校がある又私立學校は從來數校あつたが漸次整理し現今では基礎確實なるもの二校を存するのみである各校の在學生は小學校六百三十三名普通學校五百七十五名幼稚園四十二名商工學校百三十餘名實科女學校二十七名商業專修九名私立學校三百七十五名と云ふ有樣であるが各學校共校舍其の他の設備完備し教育上支障を感せないのである宗教界は佛教に禪宗眞宗淨土宗及び法華の各宗寺院若くは布教所の外高野山大師教會支部がある基督教としてメソヂスト及び組合教會其の他神道として金光教天理教等で各宗派を合し信徒二千名以上で各々熱心に本然の使命を盡して居るから市民の精神界に安定を與へつゝある蓋し鮮少ならざる事と信ずるのである

▲土木公園及び水道設備の狀況● 市街道路は技術員修路工夫を常置し常に維持修繕に努め漸次精度を加へ又排水を完全ならしめんと努めつゝあり水道は水源地を市街の西方約三里の遠距離より引水し市内全部に給水し水質の成績佳良なるは何よりである又公園は富田氏個人經營に係るものを公開しゐるも府の經營として三萬坪の地域を劃し大正記念公園設置の計畫を樹て著々施設の歩を進めて居る次第である

▲警備● 府の警備に關する施設としては鎭南浦消防組の設備あつて火災、水災、夜警等に當らしめ消防器具も水道敷設以後は水栓使用に要する器具をも備へ實地の指揮は警務官憲に於て當り府は財政の許す限り設備の完全を企圖し居る次第であるが昨年久原製鍊所の新設と共に同所内に從事員を以て消防組を組織し當府所設の消防組と相俟つて公衆の爲めに盡力する事になつたので一層便益を感ずるに至つたのである

▲感化救濟に關する私設團體● 當府内には現在「共濟社」「奬善院」と名付けるものがある共濟社は結氷期に於ける袖手徒食者に正業を與へ民風を改善し勤勞と職業を重んずる風習を養成し産業を奬勵し鮮民經濟の融和發達を謀て造らねばならぬと云ふ處から内鮮人有志各々醵金をなし數千圓の資金を得たので一定の規定を定め事業として藁細工機業、製紙、洋蠟燭製業莞蓆及履物工表類の製造等を授け良好の成績を擧げて居る又奬善院は免囚を保護し正業に就かしめ改過遷善を目的とするのであるが是亦有志相謀り規約を定めて目的を達して居るのであるが維持に就ては特志者の寄附に俟つ事になつて居るが此の程社會救濟の施設は都市の發達に連れ最も必要なる事柄であるが夙に有志が茲に目を注ぎ熱誠以て之を經營するに至つては其情緒の麗はしさ實に快感に堪へない次第である

▲輸出入貿易の狀況● 當港の輸出入貨物の重なるものは輸出品として米、大豆、食鹽、金鑛、石炭、鐵鑛、亞鉛、金、銀、銅、牛皮等で價格五百萬圓輸入品の重なるもの綿系、金巾石油其の他雜貨類約二百五十萬圓合計七百萬圓内外で從來輸出先は内地で輸入品の供給地は平安南北黃海道の三道に限つて居たのであるが昨年以來支那、滿州、浦鹽等と取引關係極めて密接となつて來たので内地からの輸入品も先づ當港で中繼をなし夫々同方面に輸出するピン地方一帶並に浦鹽に輸出すると云ふ好況を呈して來たので昨今では輸出入額一千萬圓を超過したと云ふ盛况で貿易港としての價値は非常な勢を以て世に知られて來たのである殊に當地附近一帶には金鑛、石炭の鑛産地を以て充たされた量の産額で朝鮮に於ける鑛業地の中心點と認められて居るから乘二浦に於ける三菱製鐵所を初めとして所々に鑛業が勃興すると共に亦地理的關係に於て西鮮唯一の商工業地として將來非常な光澤を放つ事であると云ふ事は疑を容るゝ餘地なき事と思はれるのである

以上はざつと一斑を述べたまでゝあるが將來に於ける施設計畫等に就ては適當の時機に於て具體的に申上げる事とし茲に述べる事の出來ないのを甚だ遺憾とする次第であるが幸に諒せられたい

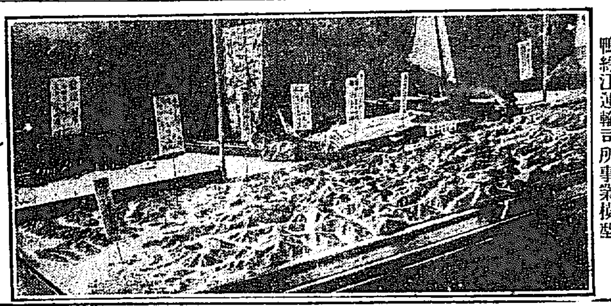
●國境唯一の水運業

鴨綠江運輸司所の活動
上流の物價二三割安くなつた

▲國境沿岸● 國境百數十里に蜿蜒たる鴨綠江の水運は滿鮮唯一の運輸水路にして上流沿岸に於ける物資の集散殊に農産物鑛業、日用雜貨及び旅客の交通の如き殆んど此の水運に依れるものなれども其の航路權の如き永く支那人の壟斷する所となり觸に當局に於ても其の急務なるを認め鴨江航路の計畫に付き再三調査せしむる所ありしが當時恰も現在の鴨綠江運輸司所の高羽秀吉氏も航路計畫調査の上請願する處ありしを以て命令航路として補助金を下附し一面平安北道廳よりは明治四十三年防疫用として使用せし多數の艒子を貸與せられ去る大正三年四月一日より新義州より本流、中江鎭間及び新義州より支流江界間の二線路の營業を開始するに至りたるが其寄航地は新義州中江鎭間三十餘所新義州江界間二十餘箇所にして其使用船數の如き開業當時は高瀨船三十艘艒子一百艘を使用し

▲定期航路● を開始したるも業務の進展に伴ひ昨大正四年度の如き更らに高瀨船及び艒子三十一艘を增し一層運送力を增加し從來の實驗に鑑み本店を新義州に移し出張所及び代理店を增加し陸上運輸機關との連絡並びに沿岸各地との交通貿易上多大の利便を加へたり就中當航開始前の

▲運輸機關● は殆んど支那艒子の獨占する所にして運賃の如き一定の標準なく運航頗る不規律の爲めに上流地方日用物資の價格常に平衡を失するのみならず往々其供給を斷絕する場合多きを以て旅客殊に貨物の如き殆んど人肩馬背に依りて陸路の不便を忍びつゝありしも本航路開始と共に構造輕快なる高瀨船を增加したるを以て郵便物、乘客並に急速を要する貨物は素より支那固有の艒子の溯江し能はざる水量少なき箇所若しくば急流すら尙ほ上下し得るを以て



鴨綠江運輸司所事業模型

▲比較的低廉● なる運賃を以て迅速且つ確實に輸送するに依り貨客及び郵便物の出入を順調にし物價の調節を圖るを得るに至れるを以て目下上流地方の物價は航路開始以前に比すれば確實に二割乃至三割の低減を示し上流地方の農業及び鑛業の發達に資し移住民を激增せしめ移出物資も又利益を享くる事昔日の比にあらざると雖も支那人の

▲運輸業者● は多年當江の運輸を獨占し其資金の如き頗る豐富にして各地貨主との間に拔くべからざる取扱關係を有し且つ鴨綠江運輸司所の定期船に比すれば運航上何等の制限なく能く貨物の集散の活潑に應ずるの自由を有し船舶の如き又同司所の所有船に比すれば約六倍以上に達し宛然一大敵國を爲すの觀を呈し航路經營上尙ほ幾多の期間と苦心を要するならんも幸ひにして同司所長高羽氏は粉骨碎身爾來著々事務及び航路航型の改善に腐心し輸送力を增加し今日の發展を期しつゝありと

祝再築落成
全羅北道全州郡三禮
伊藤農場

祝再築落成
淸州警察署長
齋藤金藏

祝再築落成
全羅北道金堤奉月里
枡富農場
主任 平富榮一

祝再築落成
淸州地方金融組合
齋藤清治

祝再築落成
公州監獄淸州分監
三上啓丸

祝再築落成
全羅北道沃溝郡
宮崎農場
宮崎佳太郎

祝再築落成
鑛業
本部 京城南米倉町 電話長九三〇番 三八〇八番
蛇目鑛業所
同 蛇目分析所
所主 蛇目萬次郎
支部 元山旭町十六番地 電話三一八番

祝再築落成
京城淸雲洞
前代議士 津田鍛雄
電話長二四一〇番

世界有數の大漁場

江原道金剛山下の長箭港＝朝鮮東海岸一帶の寶庫＝鮮魚は其のまゝ下關へ送る＝名古屋以西は朝鮮魚の天下＝角輪組奥田漁場の活躍振り

天下の名勝金剛山を見物する人は、是非一度靈津の岬に立つて、萬二千峰の大觀を恣にしなければならぬ。靈津は

▽金剛山麓の長箭港

から海上三里の沖合にあつて、此處からは海拔五千餘尺の毘盧峰を始め大小の奇峰悉く眸底に集つて來る。其の旭日をうけて紫色に輝く金剛山の大岩壁も落陽を負うて紅ゐに映ゆる峰々の姿も、一度靈津の岬を訪れた人でなければ到底語る事が能きぬのである。前の

▽軍司令官井口閣下

は今夏此地に遊んで嘆賞措かず金剛の大觀は靈津を佳所にして求むべからずと激賞したがあつた。昨今の秋は滿山の楓葉紅に燃ゑて、沖の白鴎にや鯨も見ゆる、眞に天下の絶景といふべきである。然るに靈津の岬は三四年前からまた鰤大敷の大漁場となつた。日下此處で漁獲される

▽鰤、鯛、鯖の大群は

何れも大きな大敷網にすくひとられて、潑溂たる鮮魚は其のまゝ運送船で内地下關へ送られて了ふ。金剛山麓の鮮魚が毎日内地人士の食膳に上るといふ事は鳥度世人の氣附かぬところであるけれ共、現時名古屋以西の都會では大阪京都を始め漸次朝鮮鮮魚の勢力範圍に入つて來た。且又

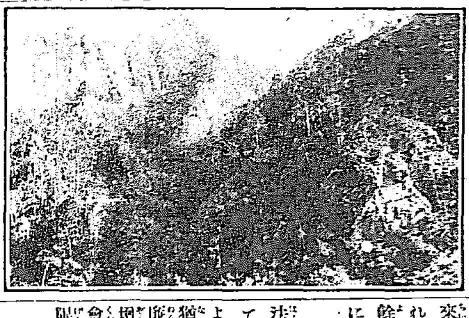
▽將來東京市民の食

用をも漸次金剛山魚で占有せんとしつゝあるから、以つて其の活躍せる事業振りを知るべきであらう。漁業專門家の云ふところによれば、金剛山の山影は、遠く江原道の沖合を廻游する魚類の目標となり、波靜かなる長箭灣に、暖流寒流に乘つて廻游する魚類の大群が是非一度拚寄せねばならぬ地勢にあるさうだ。されば

▽長箭灣の咽喉を扼

して靈津の大敷網が創設以來非常なる好成績を擧げつゝあるは毫も怪むに足らぬことである。然るに此の好漁場は目下鳥取縣の人奥田船藏氏の經營になり既往幾多の大難關を切り抜けて今や朝鮮東海岸唯一の大漁場たるの好成績を收むるに至つた。奥田氏は曾て

▽トロール漁船を日本に輸入したる漁業具の先覺者として多年海洋を家とした快男子である氏の波瀾多き前半生は或は沿海州沿岸の月に嘯き、或はオコック海の怒濤と闘ひ泡るも倒るゝも終始海洋を以つて舞臺として居る其の朝鮮東海岸の漁業に着目したのは今から十餘年以前のとであつたが、其後久しく



角輪漁場本部より見たる金剛山

▽オコック海方面に

活躍せしため斷く此の無限の寶庫を顧るの暇なかりしところ數年以前より再び此の世界三大漁場の一たる東海岸に着目し今日の成功を贏ち得たのであつた。目下奥田氏の經營になる東海岸の漁場は、靈津に於ける本場を始め總數七箇所、北部第一漁場は遠く咸北城津より、南は咸南利原郡新浦、定平、退潮等に至るまで

▽弓の如き沿岸一帶

總て奥田氏の大敷漁場である、現に靈津に於ける大敷網は陸地より袖網六百間、大敷網は長さ三百間、幅百間、毎日朝、午、晩の三回毎に網をあげて漁獲せる潑溂たる鮮魚はこれを下關へ廻送しつゝある。斯くて多年空しく等閑に附せられたる朝鮮東海岸の海の幸は、水産界の快男子奥田君の手により

▽着々新日本の富と

なりつゝある。且つきた漁場所在地に於ては年々内地人移住者の數を増し、其の一家族を率ゐて移住する者も亦尠なからず、從つて鮮人漁夫の來住し從業する者も亦尠くない。されば本部江原道靈津に於ては、六十餘戸の鮮人家屋は殆んど漁場の爲めに生活し、且つ内地式漁撈法

▽内地式漁網の製作

法を傳習するもの尠からず、斯くして朝鮮東海岸の漁業は奥田氏の手によりて盛んに開拓せられつゝある。猶ほ奥田氏は多年日本人の副食物を廉價に供給し以て日本民國の健康を増進せしめたしと主張する人、人と食する毎に海の寶庫と、水産物の無限なる利益を説いてやます、我國が

▽世界有數の大漁場

を有しながら高價な魚類を食ふとは何事ぞ、試みに思へ朝夕の食膳に一人十錢の米は喰ひ能はざるも同格の刺身はペロリとなめ盡くすに非ずや……これは君が平素の持論である然しながら君が現下の大努力にして緩らざれば將來内鮮人が廉き魚肉に舌鼓うつ時――即ち君の理想が實現される時も遠くはあるまいと思はれるのである。

製材力の偉大なる

鴨綠江製材無限公司

安東縣鴨綠江畔六道溝に於ける鴨綠江製材無限公司は男爵大倉喜八郎氏と採木公司との等分出資に成る共同經營にして其資本總額實に金五十萬圓なり安東驛より約十町左は鴨綠江に沿ひ水陸運輸共に至便の位置を占め其面積二萬一千三十坪餘にして其他貯水池及び貯木所二萬六千餘坪を有し事務所、製材工場、製函工場、乾燥場、倉庫、各種附屬建物及び社宅を合すれば四十三棟二千九百三十入坪にして其工場の如き第一第二の二工場は

△鋸機械工場 と其他製函工場として各種の函材及び小割材を挽く二工場を有し原動力は電氣にして米國製三十三キロワット六の汽機直結直流發電機を用ひ各工場に使用する諸機械の數は製材工場に六呎帶鋸機械外三十二臺製函工場は製函丸鋸機械三十一臺附屬工場は帶鋸自動目立機械十三臺を有し貯木池よりの木材の陸揚は蒸汽力を用ひ米國式の『インクライン』捲揚裝置にして各一日に一千尺締餘の木材を陸揚をなし其製材力は第一第二の工場に於て約十五萬尺締及び製函工場は石油箱標準として約百五萬個の

△製材力 を有し晝夜連續作業を爲す時は之れに倍加する能力を有し目下の職工としては日本人三十五人支那人三百二十五人支那人定夫六百八十名の多數を有し其製材せられたる木材類は蒸汽及び暖爐裝置を以て乾燥せるを以て氣候の濕乾に不係伸縮又は變色腐朽の愛ひなく

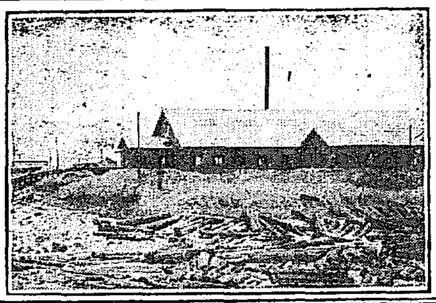
△完全無缺 のものにして殊に輸出木材は構内の引込線に積卸場の設置ある故に迅速に多量の積出を爲し得るを以て顧客に於ては積出の費用を省き且つ貨物の損傷無く最も至便なるが其販路の如きは

△鴨綠江原木 及び製材は滿洲に於ては安奉鐵道沿線各地を初め奉天より北は長春まで南は大連、旅順、營口等に至り支那に於ては天津、龍口、芝罘、青島、上海等に迨び朝鮮は新義州より釜山に至る鐵道及び支線沿道の地に悉く供給を爲し居れるのみならず今や日本及び海外にも

△新販路 を開拓しつゝあるが殊に製函の種類は豆油函及び石油函捲煙草函、鷄卵函、蠟燭函、魚函、燐寸函、果實函、素麵函、高野豆腐函類函、石鹼函、清涼飲料水サイダ等の需要の増加は殆んど底止する處を知らざる盛況にして其他臨時の需要なれども

△露國政府注文 の軍靴及び彈藥函等の荷造函注文あり函類の内最も需要多きは豆油函にして本年一月より八月迄の契約高は數萬個以上に達し尚ほ漸次増加の傾嚮あり惟は滿洲の名産たる大豆油が

△近時歐米向 輸出の著しき増加を見たるに基因せるが之れに次いで捲煙草函の年額約十五萬個と雞卵函も亦今後多數の需要ある見込にして之れが販路は南は上海天津を初め支那各地及び滿洲一圓に迨び朝鮮は各鐵道沿線の大部分に廣く供給しつゝあるが各地主なる販賣所及び代理店特約店は奉天新市街鐵路大街上海大倉組支店天津大倉組支店大連大倉組出張所青島秋田商會等なりと



鴨綠江製材無限公司

祝再築落成
全羅北道金堤
石川縣農業株式會社金堤支店
專務取締役 北尾榮太郎

祝再築落成
全羅北道金堤
阿部農場
主任 奥村竹三郎

祝再築落成
漢湖農工銀行清州支店
北原彥次郎

祝再築落成
京城旭町一丁目 齋藤英壽 電話一四一四番
京城本町三丁目 小倉三郎
京城明治町二丁目 榊忠司 電話一八六〇番

祝再築落成
海陸運送業 米穀問屋業
京城古市町十四番戸(南大門驛前) 近藤運送店 電話六七二番
京釜線平澤驛前 同支店

祝再築落成
陸軍御用 諸官衙御用
精肉
京城本町三丁目 山口太助 電話一七二五番

祝再築落成
永登浦壽町
大塚醬油釀造所 電話二〇番

祝再築落成
登錄商標 人蔘キャラメル製造元
京城南大門驛前 電話二三六七番
京城太平通二丁目 藤京城製菓所
藤製菓所販賣部 電話貳貳參貳番

祝再築落成
織物。敷物。室内裝飾品類商
京城本町一丁目
横山隆一
電話長一六七番

祝再築落成
裝飾織物 呉服商
京城南山町二丁目
高島屋
飯田合名會社出張所

祝再築落成
カステーラ 三色羊羹 葡萄飴 祝儀佛事用 和洋名菓
京城本町二丁目
永田亭
電話六八五番

祝再築落成
群山幸町
三橋精米所
電話五一番

祝再築落成
清酒、醬油 都味噌、萬漬物 特約販賣
龍山漢江通り三角地
山脇商店
電話二三番

祝再築落成
人蔘精 人蔘錠

定價 四十五瓦貳圓 十八瓦壹圓 八瓦五拾五錢
主治効能
神經衰弱 ヒステリー ヒポコンデリー 頭痛 偏頭痛 眩暈 腦貧血 腦充血 腎臟炎 貧血 營養不良 精力減退 老衰
ツムラ人蔘錠効能 人蔘精と同一
定價 二百三十錠貳圓 百錠壹圓 四十五錠五十錢
製劑本舗 京城 ツムラ人蔘部
電話一八七〇番 電略(ツ)又(ツムラ)

鴨綠江採木公司

二十年來獨占的事業 經營益々良好を示す

一、沿革

鴨綠江採木公司は明治三十八年十二月北京に於て締結されたる滿洲に關する日淸條約附屬協約第十條の規定に基き明治四十一年五月協定の日淸合同木材會社に關する取極並に明治四十一年九月奉天に於て兩國政府委員の協議決定せる業務章程に依り資本を北洋銀三百萬元とし兩國政府の合同事業として成立したる國際的會社にして爾來年を閲すること玆に八星霜始め日本側理事長として林學士樋口邦美氏來任し大正元年十月現理事長林學博士村田重治氏と交迭せり支那側にては胡宗瀛氏次に程道元氏次に現理事長鐵錄氏就任以て今日に及べり公司創業當時に在りては事業上幾多の障礙と困難とに遭遇し從つて一時公司の營業狀態も不振を極め之が經營難を唱へられしことありしも其後著々として事業の改良擴張に努力し事業機關を增設して積極的方針を以てしたる結果幸にして近年事業順調に趣き之が經營は益々良好なる狀態に進み今日に於ては公司の基礎も愈々確定するに至れり

二、事業及び特權

日淸合同木村會社に關する取極書に依り鴨綠江右岸帽兒山より二十四道溝に至る森林の一帶鴨綠江面を距る六十淸里內は之を專採區域と稱し公司直接の自營地とし其界外及び支流渾江流域の森林に關しては木材の伐採に要する資金を貸附し且つ一面其木材の全部を買收するの特權を有す而して上流一帶の森林面積は約百十萬町步其蓄積約三億五千萬尺締なりとす

三、產出量及販路

鴨綠江右岸支那側より年々產出する木材は年に依り著しく不同ありと雖も平均約百二十萬尺締に達するも將來需用の發展に伴ひ益々其產額を增大するの方針なり今最近の產出量及び其價格を示せば左の如し

年別	數量	價格
明治四四年	八六六、七三一連	一、八六六、八五三兩
大正元年	八六六、三〇八連	一、八六九、四〇〇兩
同二年	五四八、七三四連	一、三四九、一〇七兩
同三年	一、三二九、四七七連	三、三二三、三四八兩
同四年	一、〇五五、三三一連	一、九五四、三三七兩

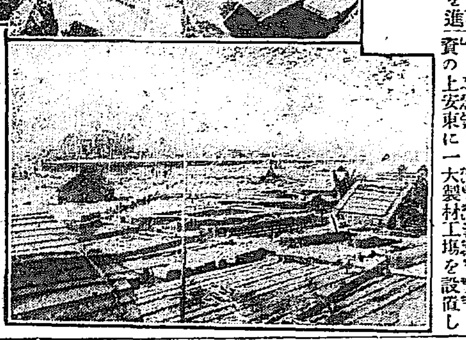
而して產出材の主要なるものは紅松(朝鮮五葉)にして金額の約四割三分を占め之に次ぐを松松(唐檜、白檜、樅の類)と黃花松(落葉松)とし雜木類は遙かに前者に及ばざるも今後用途の進展に伴ひ漸次產出數量を增加するに至る可し此れ等の用材は多くは角物にして丸材は約一割に過ぎず造材に關しては從來の習慣に從ひ運(長さ八尺)單位なるも近來需用方面の變遷と製材事業の勃興に伴ひ一般に長間材の產出に力め間單位を爲して更に延尺を附し或は電柱、土木用杭木、鑛山用杭木等の丸太を產出する等各種の需用に應ぜんことを期せり

十九道溝本流奧採木公司直營材流事業

從來公司の取扱ふ木材の內公司直營伐採材を除き約四分の三は料錢の希望に依り例年貸戾しを實行し來りたるも今や公司貯木場の設備も殆んど完成し販賣上の調査研究も其步を進めたるを以て益々公司の直營事業を擴張し一面漸次木材の買收を爲すと同時に販賣上の發展を期せんとす而して從來鴨綠江材の販路たる南滿一帶及び朝鮮は勿論なるも需用地の第一に數ふ可きは天津を中心とせる渤海沿岸の諸港にして北は營口、錦州、山海關等より南は龍口、芝罘、威海衛、靑島の諸港に及び此等の地方は孰れも鴨綠江材とは深き緣故を有し既に二十年來殆んど本材の獨占的なりしも靑島以南上海方面に及ばざりしを以て公司は幾度の犧牲を拂ひ極力上海方面の販路開拓に勗めつゝありしに時恰かも歐洲戰亂勃發し其餘波は海運界に一大影響を及ぼし船腹缺乏の結果は亞米利加材の輸入杜絕し北海道材の輸入亦激減せし爲め比較的近距離なる鴨綠江材需用一時に增加し本年春季解氷前より上海方面の木商續々入込み相競うて買付に著手したるを以て鴨綠江材は未曾有の盛況を呈し本年上海への出荷は既に十八萬連此價格七十萬兩に達し尙益々取引好良なりとす斯くの如くにして鴨綠江材の眞價は上海方面に紹介せられたるを以て假令平和克復の後に於ても材質に於て將た價格に於て他材に押さるゝなきを信じ公司にては益々此方面の出荷に向つて努力しつゝあり

四、貯木及製材

安東縣六道溝に貯木場を新設し其面積十五萬坪貯木場地內へは巾四十間の運河を掘鑿し木材の水中貯木に便ならしめ水陸を併せ優に卅萬尺締を收容し得るを以て大洪水に際しても流失の災を防ぎ且つ貯木地內には安東驛より專用鐵道を敷設し汽車積の便を圖り尙一般木材業者の爲には木材の保管を爲し寄托者の請求に依り保管證券を發行し以て金融の便を圖りつゝあり而して公司は原木の販賣に止り直接製材を爲さざるも客年十月男爵大倉喜八郎氏と公司と合同出資の上安東に一大製材工場を設立し鴨綠江製材無限公司と稱し同公司に於て一般に製材の需用に應ずることとせり



六道溝採木公司貯木所

新義州電氣會社活況

新義州電氣株式會社の創立は大正二年にして其資本金六千圓なるも發電機配電機蒸汽鑵電動機に至るまで最新式の機械を据付其經營の如き創立日尙ほ淺しと雖も內容の充實と同地方事業の振興に伴ひ其進展眞に目醒しき者あり就中昨年石油暴騰の結果前期六十九燈の廢燈ありしにも不拘三百餘燈の激增を示し今期は需要戶數五百六十四燈點燈數二千三百餘燈十燭豫算二千九百九十二燈を算し又電力の需要の如き三十五馬力の電動機を据付晝間動力の供給を開始したるに需用家も隨つて增加したるが既に去る七日の決算の如き三千三百百八十二圓餘の純益を上げ諸種の積立及び後期繰越金及び特別賞與金を除き尙ほ一株に付五分の配當を見るの成績を見るに至りたるが同社の重役としては田中健士、松隈哲次、其阿彌直次郎、神山觀、監査役佐藤貞一、桂明和、野津鍬之助氏等なり

祝再築落成
慶南密陽郡邑內
密陽銀行

祝再築落成
晉州榮町
林木商
小柳材木店
電話一四六番

祝再築落成
濁酒、味噌、醬油、日用雜貨、牛蠟並に天産農產物仲買
慶南晉州
⊕西鄕商店
電話一四三番
電略(サイ)又(サ)

祝再築落成
和洋化粧品其他小間物商
晉州榮町
佐久間弦二商店

祝再築落成
晉州城外
和洋酒類 食料雜貨
山川商店
電話二三番

祝再築落成
平康邑內
濱谷重太郎

祝再築落成
朝鮮運輸聯合會加盟店
湖南線長城驛
㊁窪田運送店

祝再築落成
朝鮮總督府鐵道局承認店
湖南線羅州驛
山川運送店
電話六番

祝再築落成
朝鮮運送聯合會加盟店
湖南線鶴橋驛
㋕片山運送部
自轉車部

祝再築落成
湖南線鶴橋驛前
萬雜貨商
鐵道貨物運送並に人力車業
小林吉藏
鐵道待合所

祝再築落成
群山稅關支署
稲王力藏

祝再築落成
群山横田町
上甲醬油釀造場
電話三五三番

祝再築落成
平康邑內
嘉村勝太郎

祝再築落成
平康邑內
高橋

祝再築落成
平康邑內
大島壽乃雄

祝再築落成
平康邑內
後藤佐市

祝再築落成
平康邑內
吉崎吉太郎

祝再築落成
京元線平康驛前
⊕旅館

祝再築落成
平康邑內
賣藥 藥種
宮崎藥房
振替京城二三六六番

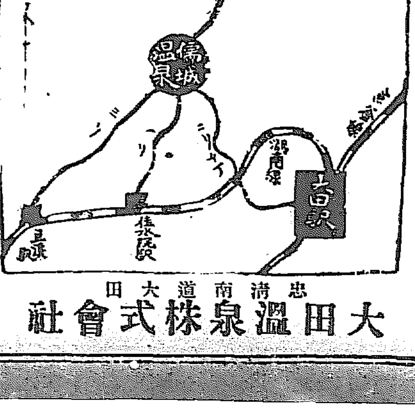
祝再築落成
營業科目
▲和洋諸紙販賣
▲活版石版印刷
▲各種帳簿製造
▲印刷用インキ販賣
京城永樂町二丁目
播本商店
電話百十番
振替京城二二〇番

資本金壹百五拾萬圓
責任準備金二千九百四十四萬三百八十二圓餘(大正四年末現在)
保險契約高一億四千八百六十萬三千三百四十九圓(大正四年七月末)
營業以來支拂保險金二千三百九十三萬四千六百九圓(大正四年末現在)
明治二十二年七月創立
日本生命保險株式會社
京城出張所
本社 大阪市東區今橋四丁目七番地
京城黃金町廿四番地(電話四二〇番)
支店 東京、京都、名古屋、福岡、金澤、仙臺
大正二年末を以て執行せる第三回大決算に於ては利益の內一百二十萬圓を保險契約者に配當せり尙大正七年末に行ふ第四回大決算に於ては保險契約者に對し積立金を除きたる總利益の百分の五十以上を配當すべく此種の配當資金は已に昨年末を以て金一百六十四萬六千六百五十四圓餘に達せり

祝再築落成
京城本町二丁目
旅館 巴城館
電話長三一 五〇七番

祝再築落成
海陸運送業
通關貨物取扱
鐵道貨物取扱
京城南大門驛前
友田運送店
電話一二八二番
電略(ト)又は(トモ)
▲京城起點田舍行駄馬運搬貨物取扱開始
東大門內友田運送店出張所
電話二八〇六番

祝再築落成
京釜線大田驛より馬車、人力車の便あり
靈泉滾々風光佳絶にして四時客を斷たず
鷄龍山は二里餘にして奇巖屏立文人墨客
の杖を引くもの多し



忠淸南道大田
大田溫泉株式會社

クリスト號自轉車の榮譽
納品數
大正三年十二月 十二臺
大正五年一月 十二臺
絶對保證附精良無比のクリスト號は今回又復使用峻烈なる遞信局より御買上の光榮を賜はり

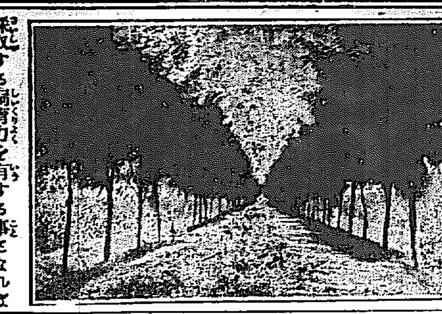
其他諸官衙著名會社にて一度本車を使用せられし諸彦は連續的愛乘の榮を擔ふ
納品數
大正五年五月 十二臺
大正五年八月 三十臺
京城本町一丁目
大澤商會京城支店
電話四八〇番

祝再築落成
煉瓦建築請負業
京城南米倉町
阿部昌次
電話一四八七番

祝再築落成
葬儀と花
永樂町二丁目
大葬社
電話一〇五六番

慶南の蠶繭

慶尙南道の蠶繭は現今は奬勵期にして大正三年度頃より蠶種改良につき奬勵せし結果は大正四年度に於ては春蠶繭改良種千三百五十二石を算し在來種は七百四十六石なり秋蠶繭は改良種七百八十三石、在來種三十六石なりき然るに大正五年度の春蠶繭は改良種二千三百十石と在來種七百五十六石合計二千六十六石を産出せるが本年春蠶改良種の市場に搬出し共同販賣に附せしは各市場を合計し六百四十四石、二萬六千五百五十九圓にして市價に於ては特等品一石に付六圓四十錢を高率に最下級品三圓四十錢なりしが故に平均四圓六十錢と云ふ市價を呈せり同道廳の蠶業課に於ては本年より漸次改良奬勵の計畫を以て今後向ふ五箇年卽ち大正十年の春期を以て大盛を了すべく實行する筈なるが其年々の增加率を五割と豫定し大正十年の春蠶繭の産出額實に一萬二千石市價平均四圓とする五十萬圓內外に達せしむべしと著々實行の運びに至れり斯く飼育奬勵に先立ちて一方桑園の擴張を計る事當然なるが大正四年度の桑園は六百四十九町歩掃立枚數六千九百十七枚なりしが本年度更に二百七十町歩の增加反別に依り擴張せり尚明大正六年度よりは毎年三百五十町歩の增加率を以て大正十年迄經續實行する時は桑園二千二百町歩に對し掃立枚數六萬七千枚收繭額一萬二千石を



馬山晉州間道路並木

採取する飼育力を有する事となれば農家の副産物たる唯一の發達を見るべしと而して桑園の擴張奬勵に付種々なる方法に依れるも大正五年度に於ては桑苗二百十萬本に限り鮮農家に對し(一本一錢一厘)價格の三分二を補助し殘三分の一は有價を以て配布せり尚ほ恩賜授産事業たる蠶業傳習所にて生産せる苗木二十七萬本は各郡を通じて無代交附せるが大正六年度よりは更に各郡に對し百萬本の苗木購入に比例し其三分の二卽ち二百萬本を現品にて交附し其他に前年の如く傳習所より三十萬本を無代交附する事に決し常該率を以て大正十年迄實行する筈なり其他明年度より在來種の掃立を撲滅せんが爲め在來種の飼育料たる栢を切斷する事を良法とするを以て栢一本に對し桑苗五本を無代にて交附し而して該桑苗の成育せし三年目に必ず交換的に切斷する事とし各郡を三分なし之れを實行する時は大正八年を初年切斷として三年度卽ち大正十年には道內通じて一本の栢を見る事なく全く撲滅する事を得べしと愈々明年より實行する筈なりと

晉州學校の記念竹林

米作と大豆

慶尙南道の米は朝鮮全道中の産額中一害三分位の率を産出せるが大正四年度の實收額は百四十四萬二千六百六十五石にして外は陸稻一萬五千〇九十四石なるが本年は前年に比し一割强の增收を豫想せるを以て實收百六十萬石以上を收穫する事となる然るに本年は槪して水害多き爲め如何と氣使ひ居れるも反つて增收の作柄を見るべし一般鮮人農家は春早なより降雨多き年柄には昔時よりの習ひにて例年水利の便もなき畓地に至る迄も植附をなし稻田となす故に一般豫想の植附反別よりは增加なし居るを以て水害の割合に收穫多かるべし大豆は大正四年の實收額二十六萬八千百八十三石を産出せしが本年は槪して各地共に夏産の大豆品質惡しく爲めに豫想よりは減したれ共秋産の品質は夏産より反比例に好良にして收穫も又自然に增收を見るべし

慶南の棉作

陸地棉は農産物中の米穀の次に位し品質に於ても全羅南北の産に劣る事なし慶南に於ける陸地棉耕作に付其館的の奬勵は大正三年度より向ふ五箇年計畫を以て開始せるが其結果最も良好にして年五割强の增率を以て産出しつゝあり卽ち大正四年度の耕作反別二千九百七十一町歩に對し其産額中自家用を除外し各面の共同販賣より搬出せる實綿は五十萬八千三百四十三斤其金額五萬七百八十六圓也又繰綿にて搬出せしもの六萬千七百零六斤金額一萬九千三百八十三圓を算す而して共同販賣所より搬出せる實綿に於ては其大部分を道廳指定繰綿工場にて繰綿となし阪地の市場に運ばれるものなり大正五年度の耕作反別は六千六百四十一町一反九畝にして其豫想收穫中の自家用實綿を除外し道內各郡合面共同販賣所より搬出すべき數は最少數を以て八十萬斤を假算し居れり尙大正六年度には一萬二千町歩五百萬斤以上大正七年度二萬町歩八百萬斤以上に達せしむる標準計畫中なりと其耕作奬勵としては各面に棉作組合なるものゝ組織あるを以て種子の配布に付ては同組合が初めて陸地棉栽培者に對して種子を無代にて耕作反別に適合せる數量を分配交附し其翌年よりは各自に於て採收せしめつゝあり又在來棉より陸地棉は作柄の部合も好く販賣に於ても敢て苦む必要なければ年毎に在來棉より陸地棉に改良する者益々增加し居れり本年の棉花作柄は春以來降雨の多かりし結果棉花の品質收穫共に不良なり然れ共共市價に於ては最も好况にして一昨大正三年度には僅は百斤七八圓位に過ぎざりしが昨四年度は百斤十二圓の平均を保ちたるに比し本年十月一日第一回發表價二割强の高價卽ち百斤十五圓二十九錢を表示せし次第なれば本年の棉花搬出は豫定以外に達すべし之れ農家に於ては豫定の自家用を割き減し市場に賣却するならん故に案外盛況を見るべし目下晋州、咸安、山淸、泗川等の各郡各面は毎市々々に棉花の賣買ボツ〳〵出來せる次第なるが最も盛繁期は本月より十二月迄とす本年よりは慶南道廳に於ては濫賣競爭購入を避けん爲め道長官と繰綿工場主との間に契約を締結し其購入區域を指定したるが晋州淸水佐太郎の晋州工場及び三千浦分工場に四十萬斤と木浦綿業會社の釜山鎭工場四十萬斤宛と決せり

祝再築落成
京城長谷川町
工友倶樂部
電話長二九〇〇 七〇〇番

祝再築落成
慶尙南道晉州
佐々木藤太郎

祝再築落成
慶尙南道晉州
佐々木正太

祝再築落成
慶尙南道晉州
井浦義久

祝再築落成
慶尙南道晉州
新藤寛三郎

祝再築落成
慶尙南道晉州
韓圭復

祝再築落成
群山明治町
落合磯太郎

祝再築落成
平康邑內
菓子商 尾野商店

祝再築落成
慶尙南道
晉州慈惠醫院
甲斐四郎
土橋末雄
若林勳

祝再築落成
慶尙南道晉州
河村利舍

祝再築落成
朝鮮郵船株式會社
船津代理店
順賀回漕部

祝再築落成
晉州榮町
和洋雜貨 筆紙墨 並繰綿業
淸水佐太郎
電話十八番
晉州 淸水操綿工場
三千浦 三千浦分工場

祝再築落成
晉州城外裁判所前
原田法律事務所
電話五十七番

祝再築落成
前判事 辯護士
長濱三郎法律事務所
慶南晉州榮町

祝再築落成
辯護士
朴銘台法律事務所
慶南晉州城外

祝再築落成
慶南晉州郡井村面禮丁里
姜渭秀

祝再築落成
慶南晉州
慶尙農工銀行取締役
金琪部

祝再築落成
平康邑內
諸官廳用達商 並に雜貨
渡邊出張店

祝再築落成
平康邑內
(イ)旅館

祝再築落成
平康邑內
材木 薪炭
山岸商店

祝再築落成
鎭南浦稅關
野手耐

祝再築落成
平安農工銀行
新義州支店

祝再築落成
新義州病院
院長 醫學士 古山佐十郎
醫學士 星三藏

祝再築落成
新義州會席料理店
開春樓
小泉樓
うどんそば 長瀧庵
第二綠新館

祝再築落成
京城南山町二丁目
秋吉富太郎
電話二四七番

祝再築落成
建築請負業
京城明治町二丁目
辻萬八

祝再築落成
精米雜穀商
徵兵保險株式會社代理店
灘酒櫻正宗特約店
朝鮮晋州錦町
(福) 中澤長次郎商店
電話三四番 振替京城九五二番

祝再築落成
各種苗 農蠶具 肥料 米穀 繩叺販賣
陸軍諸官衙御用達
晉州種苗園
上村重次郎
晉州城外
電話一三七番 電略(ウ)
振替京城一九一三番

祝再築落成
晉州榮町
三中井吳服店
所在地 大邱 京城 元山
振替京城一〇七六番
電話一五番

祝再築落成
晉州
望月旅館
電話二八番

祝再築落成
晉州
峯の屋旅館
電話六六番

祝再築落成
各國時計 附屬品種々 貴金屬 美術品 眼鏡類一式
晉州 松浦時計店
電話四九番
統營 同支店

祝再築落成
晉州旭町
進自轉車商會
並に點燈業

祝再築落成
米穀酒類雜貨商
淸水淸三郎商店
晉州本町 電話三十五番

祝再築落成
米穀商
(マ)
晉州城外
間島佐七郎商店
電話五三番

祝再築落成
日鮮人向 雜貨 卸小賣
朝鮮晋州
(本) 妹脊商店
電話六四番 電略(イ)
振替口座京城二六三番